

HD-POS

HD-POS ver3.0

ハンディ業務 棚卸

BCPOS ver7.0 ~ 「在庫管理 オプション」

目次-

P- 1・・・目次-

P- 2・・・目次-

P- 3・・・ハンディ概要 BHT- 900

P- 4・・・ハンディ概要 BHT-1505

P- 5・・・ドライバのインストール-

P- 6・・・ドライバのインストール-

P- 7・・・ハンディターミナルの接続と確認-

P- 8・・・ハンディターミナルの接続と確認-

P- 9・・・ハンディターミナルの接続と確認-

ハンディ棚卸業務

P-10・・・機種設定 (BCPOS)

P-11・・・マスタ作成-解説 (BCPOS)

P-12・・・マスタ作成 (BCPOS)

P-13・・・商品マスタ受信 (HD-POS)

P-14・・・日付・時刻設定 (棚卸開始前に必ず行う)

P-15・・・例) 在庫データ読取り-

P-16・・・例) 在庫データ読取り-

P-17・・・例) 在庫データ読取り- (履歴順/修正・削除)

P-18・・・例) 在庫データ読取り- (読取り/修正・削除)

P-19・・・例) 在庫データ読取り- (マイナス読取り)

P-20・・・ HT 実棚取込み (ハンディデータ転送)

P-21・・・ 差分調整 (棚卸中の変動在庫数調整)

P-22・・・ 棚卸一覧 (理論在庫と実在庫の比較)

P-23・・・ 棚卸締処理 (実在庫の反映)

P-24・・・ハンディデータ再転送

P-25・・・実棚修正/追加 (棚卸データ修正)

P-26・・・実棚確認 (ハンディデータの確認)

P-27・・・ハンディメンテナンス (棚番運用時等)

P-28・・・帳票関連-

P-29・・・帳票関連-

目次-

ハンディ仕入・移動業務

P-31・・・仕入・移動業務 設定

P-32・・・仕入・移動（データ転送）

P-33・・・仕入・移動（ハンディデータ取込）複数台・複数回の場合-1

P-34・・・仕入・移動（ハンディデータ取込）複数台・複数回の場合-2

P-35・・・仕入・移動（ハンディデータ取込）複数台・複数回の場合-3

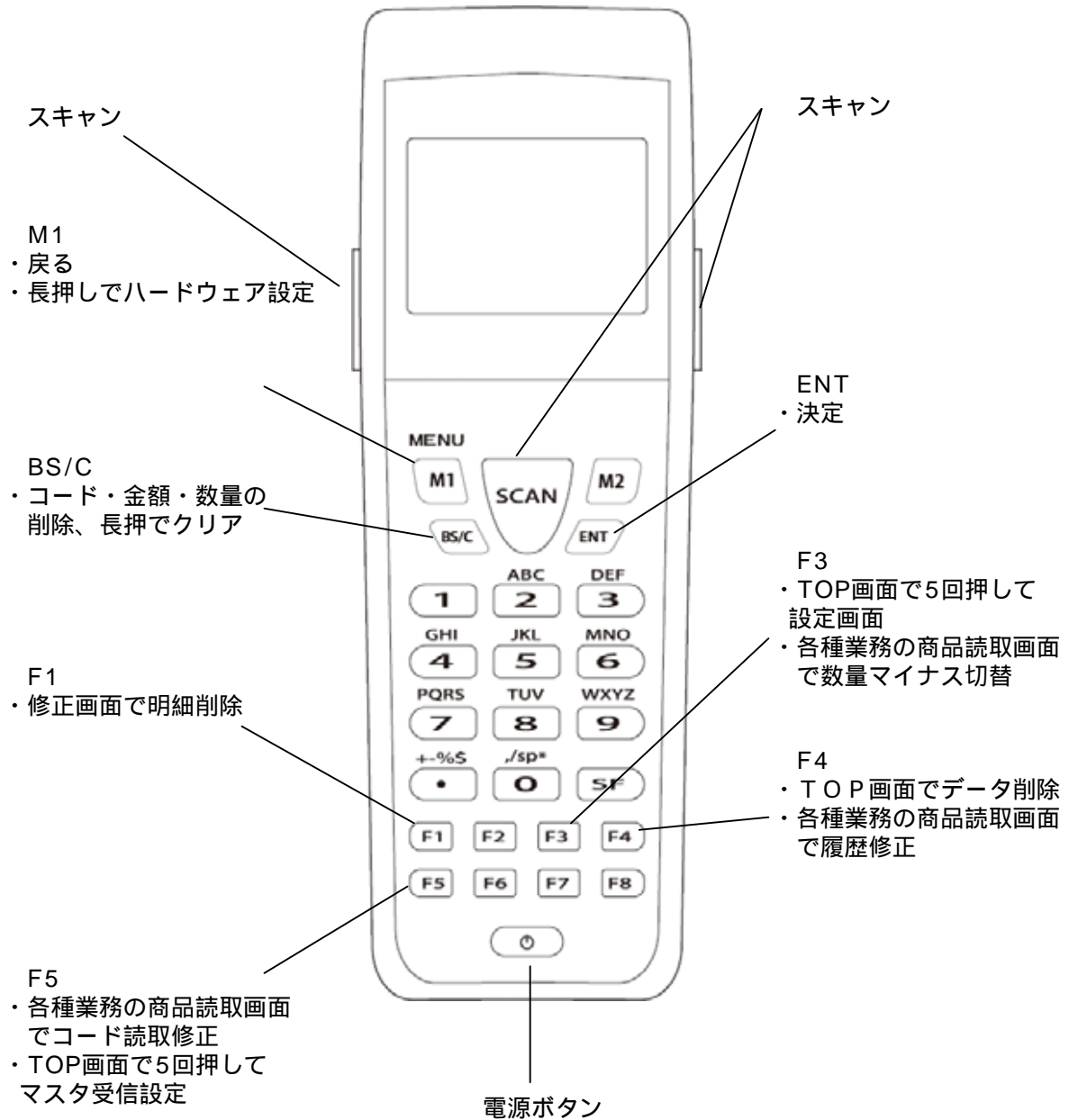
P-36・・・仕入・移動（データ反映）

P-37・・・番外 - 仕入・移動（テキストデータの取込）

P-38・・・サポート

ハンディ概要 (BHT-900)

HD-POSで利用するハンディ (BHT-900) の各ボタンの主な機能解説。及び、TOPメニュー画面の切替。



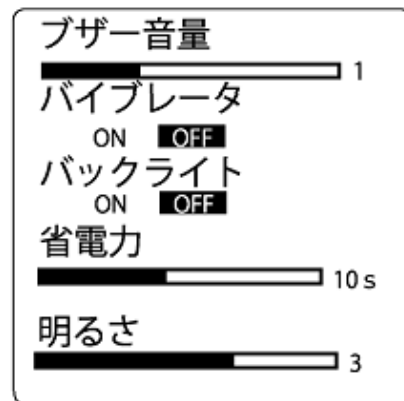
機器の調整

【M1】を長押しして、機器の設定メニューになります。

「F5」「F6」で、項目を選択
「F7」「F8」で、調整します

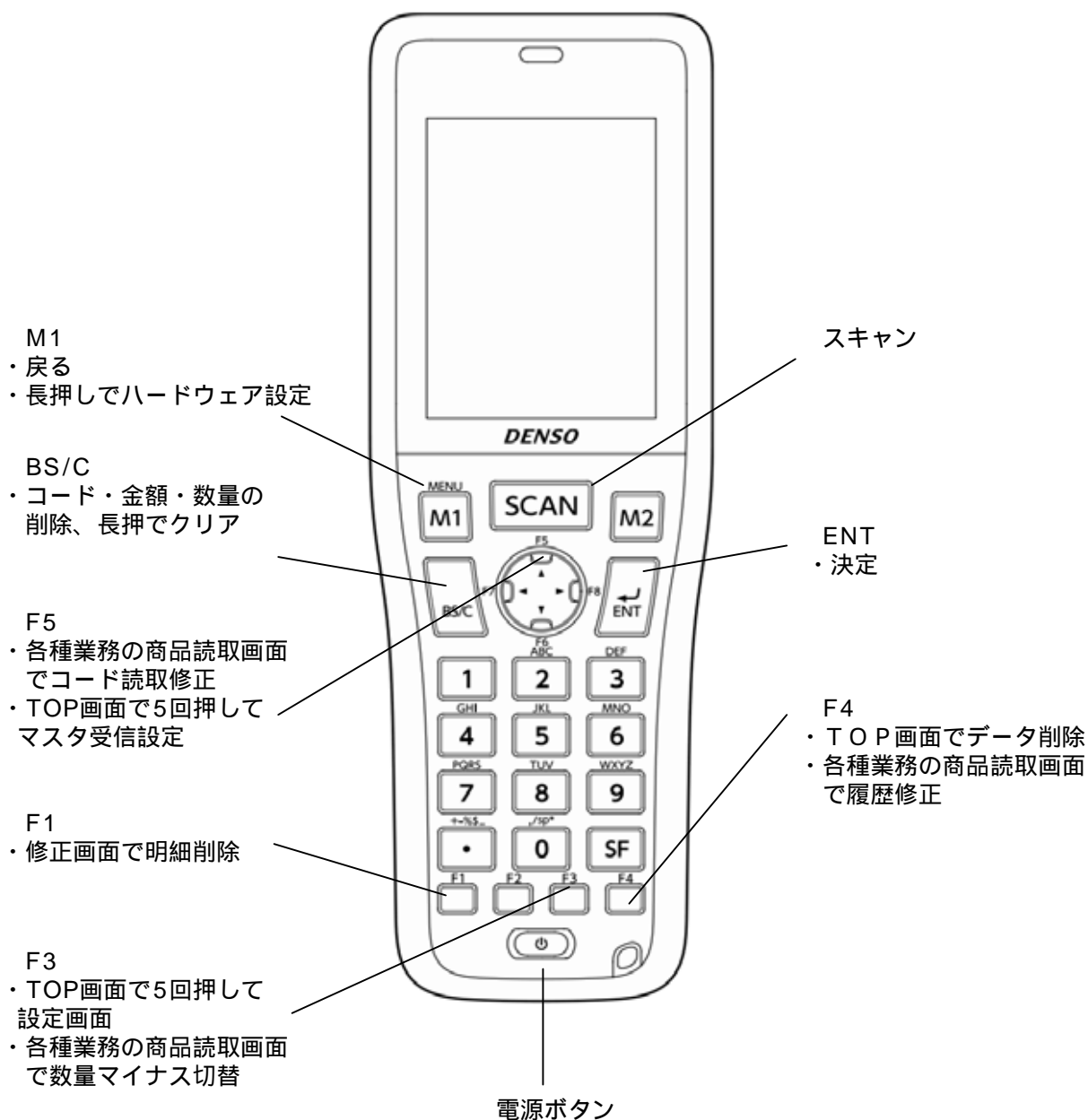
注意

ハンディターミナルの解説には、HD-POS (BHT-900) を記載しております。



ハンディ概要 (BHT-1505)

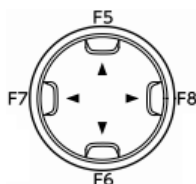
HD-POSで利用するハンディ (BHT-1505) の各ボタンの主な機能解説。及び、TOPメニュー画面の切替。



機器の調整

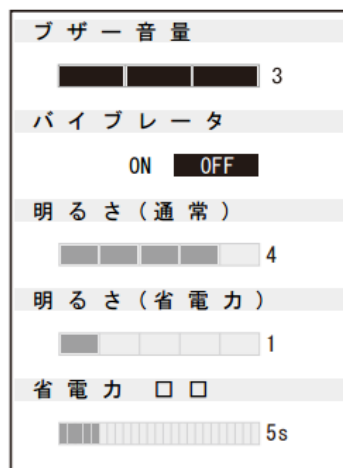
【M1】を長押しして、機器の設定メニューになります。

右図、十字キーの「上下」で、項目を選択
「左右」で、調整します



注意

ハンディターミナルの解説には、HD-POS (BHT-1505) を機材しております。

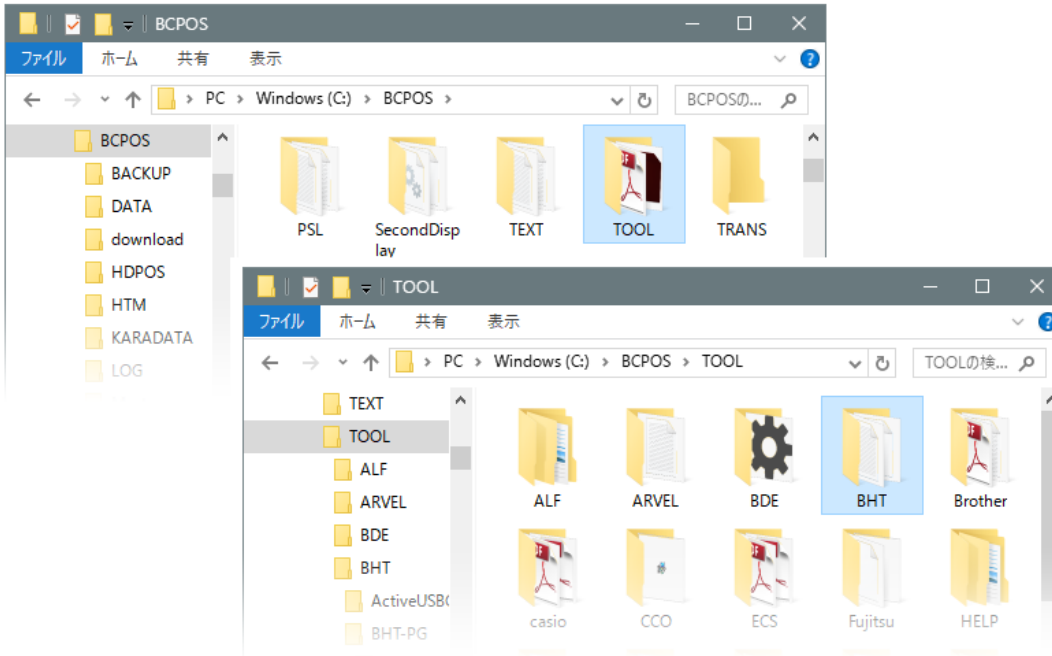


ドライバのインストール-

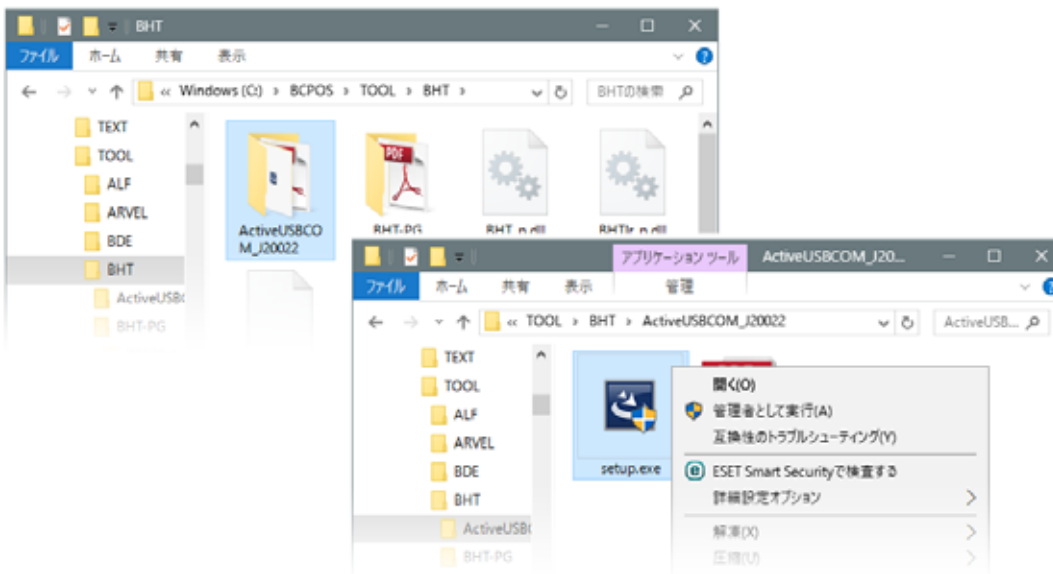
BCPOSでHD-POSのデータを受信したり、マスタ作成する為にBCPOSとHD-POSを通信できるようにする為のソフトウェアをインストールします。

ハンディターミナル用のUSBケーブルは接続しないでください

PC > Windows (C:) > BCPOS > TOOL > BHT



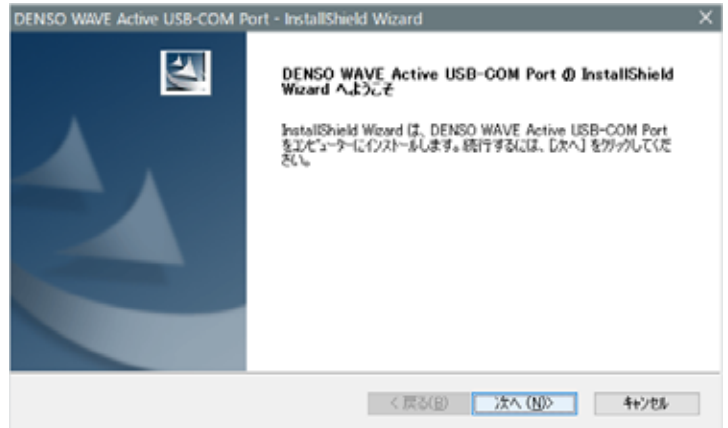
ActiveUSBCOM_J20022フォルダ > 「setup.exe」を右クリックして【管理者として実行】します



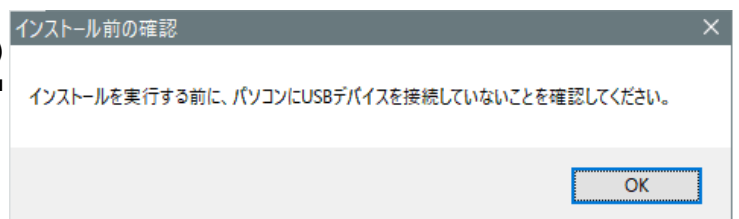
ドライバのインストール

InstallShieldのウィザード画面が表示されますので、「次へ(N)」を選択します。

ハンディターミナルが接続されていない事を確認してください。



インストールするデバイス(ハンディターミナル)がPCに接続されていないことを確認して「OK」を押して下さい。



インストールが完了しましたら「完了」を押します。



ハンディターミナルの接続と確認-

ハンディターミナルをパソコンに接続します。

接続したUSBポートが今後接続するポートとなります。

HD-POSに電源が入っていない事を確認して、パソコンとハンディターミナルを付属のUSBケーブルで接続します。

接続が終わりましたら、HD-POSの電源を入れてください。

パソコンとUSBケーブルで接続されることで、データ通信が可能となります。

また、充電電池（eneloop）を使用している場合には、同時に充電を行います。

注意 HD-POSワイド（BHT805）は、クレードル接続になります。



右図が表示されハンディターミナルをパソコンで利用する準備が整いました。（表示は、初回接続時のみ）



以降、パソコンとハンディターミナルでのデータ通信や、充電電池（eneloop）の充電の際には、付属のUSBケーブルを接続してください。

【注意】

パソコンのUSBケーブルの差込口（ポート）を変更すると、再設定が必要になりますので理由なく接続ポートを変更しないでください。

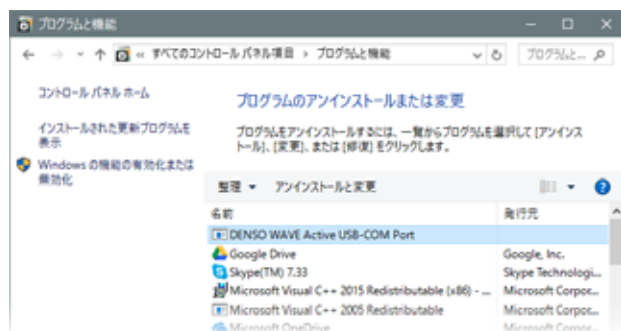
USBポートを変更した場合の再設定手順 （USBケーブルの差込口を違う場所に差した場合）

コントロールパネル プログラムの追加と削除を開きます。（Windows10の場合はプログラムと機能）

「DENSO WAVE Active USB-COM Port」をアンインストールします。

再起動のメッセージが表示されますので、ハンディターミナルを接続していない状態で再起動します。

再度P-5からの手順でセットアップを行ってください。



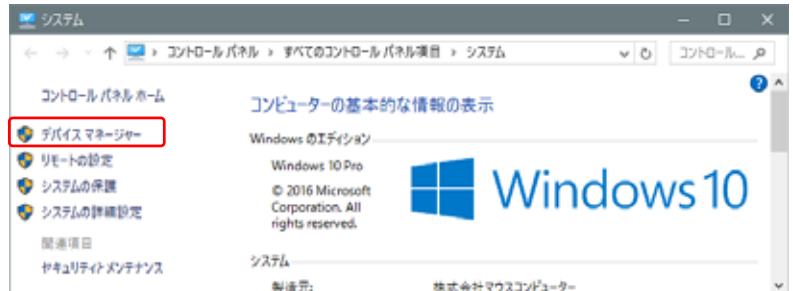
ハンディターミナルの接続と確認-

正しくデバイスがインストールされましたら、COM番号の設定を確認する必要がありますので、「デバイスマネージャー」を起動します。

キーボード下部左側のWindowsキーを押しながらキーボード上部右上Pauseを押します。
(機種により配置が違う場合がございます。)



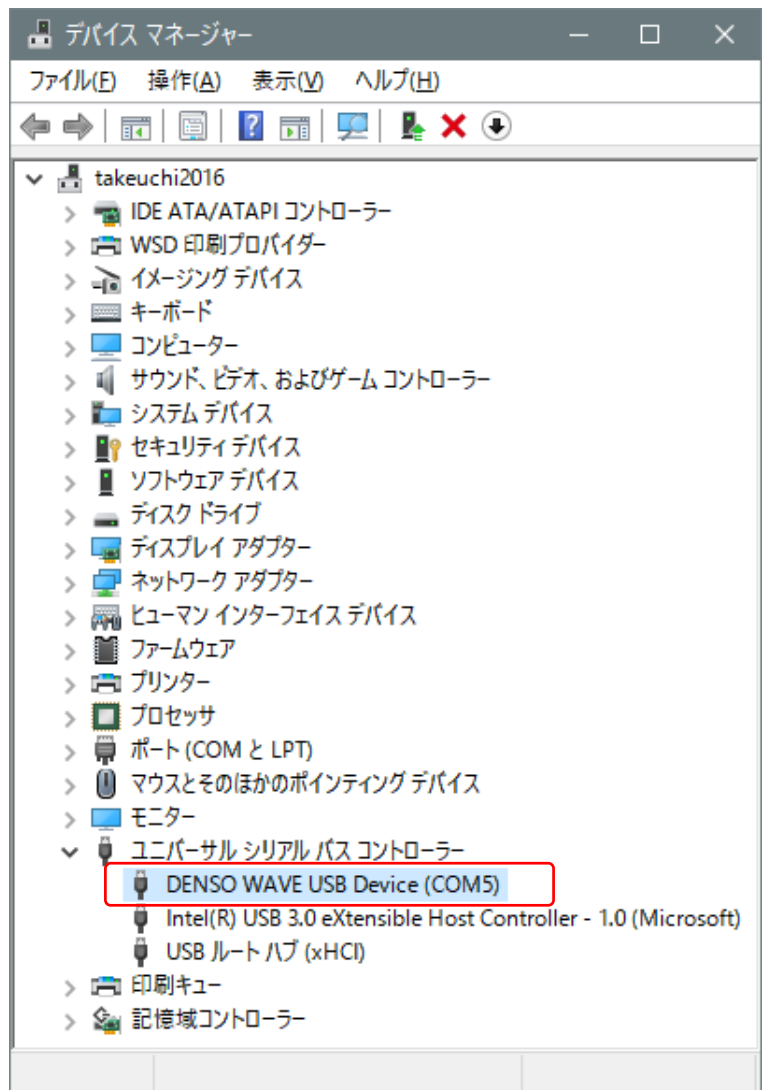
システム情報の左上部「デバイスマネージャー」を起動します。



デバイスマネージャーが開きますので、
▷ユニバーサルシリアルバスコンピューター (COMとLPT)を確認すると
「DENSO WAVE Active USB-COM Port(COM●)」と表示されます。

COMの後にある数字(上記●)を
確認後、記録して下さい。

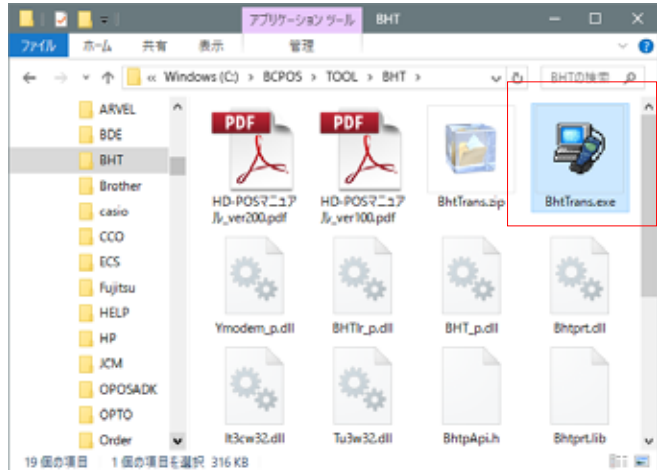
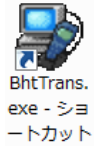
右図は一例です、お客様の環境によりCOMの番号は変わります。



ハンディターミナルの接続と確認-

PC > Windows (C:) > BCPOS > TOOL > BHTフォルダ内の「BhtTrans.exe」を起動します。

この際に、マウスを、右クリック > 送る (N) > デスクトップ (ショートカットを作成してください。) で、ショートカットの作成を推奨します。



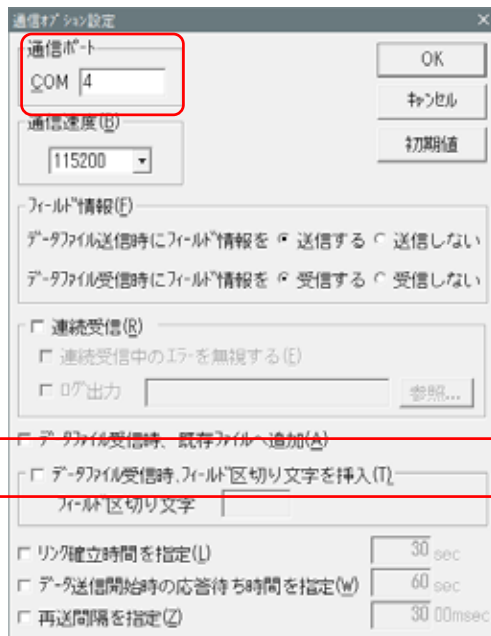
ボタンをクリック、または「オプション」から「通信オプション設定」をクリックします。



「通信オプション設定」が開きますので、通信ポートのCOM欄を確認した番号（前項で確認後記憶した番号です。P-8

）に変更して「OK」を押して下さい。

が入っていない事をご確認ください。



以上で設定は終了です。

上記図は一例です、お客様の環境によりCOMの番号は変わります。

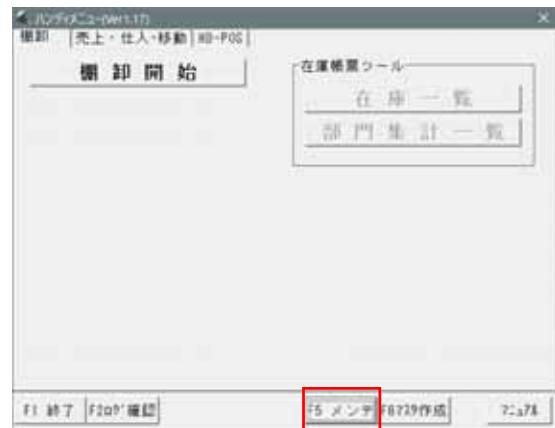
機種設定 (BCPOS)

BCPOSで使用するハンディターミナルの機種を設定します。

BCPOS開始メニュー「F7 ハンディメニュー」を押してください。

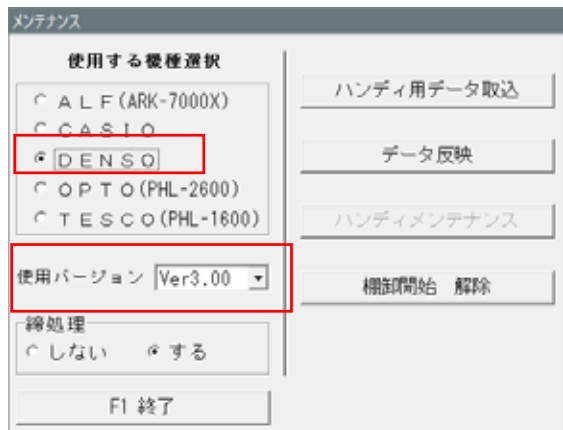


ハンディメニューが開きます。
下部タブの「F5 メンテ」を押してください。



メンテナンスが開きますので、使用する機種選択で「DENSO」を選択してください。

Ver選択はお使いの機器に合わせて選択してください。



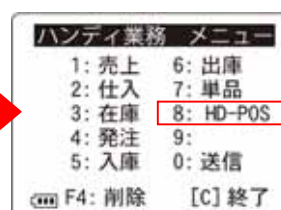
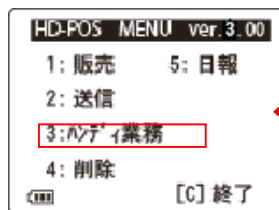
「F1 終了」をクリックして保存してください

上記設定は、同一機種のハンディターミナルを使用する場合には、初回のみで次回は不要です。

Verの確認方法

バージョン情報は、HD-POS画面に表示しています。
ハンディ業務画面の場合、下記方法でご確認ください。

HD-POS MENU TOP画面で、**3** を押して、「ハンディ業務メニュー」に切替。



ハンディ業務メニューTOP画面で、**8** を押して、「HD-POS」に切替。

マスタ作成-解説 (BCPOS)

HD-POSの商品マスタ登録上限は7万件になります。7万件を超える場合には、BCPOSの商品マスタを各種条件で範囲指定して作成してください。

基本的に、BCPOSに登録されている商品マスタが7万件以内であれば、「コード指定」で、ご利用中のバーコードを選択して、「F10 実行」してください。

ハンディ用マスタ作成画面解説

BCPOSに登録されている商品マスタから範囲指定してHD-POS用に出力する場合には下記を参照してください。

マスタ選択	ハンディターミナルを使った一般的な業務は商品を選択してください。 ※NonPLU商品の場合は、別途お問合せください。
コード指定	BCPOS商品コードの他に、読取るバーコードがある場合、種別を指定します。
部門指定	全部…すべてを対象とします。 指定…右側に部門選択ボックスが表示されます。指定できるのは単一部門のみです
商品コード範囲指定	全部…すべてを対象とします。 指定…商品コードの範囲を指定します。
枝番範囲指定	全部…すべてを対象とします。 指定…枝番の範囲を指定します。
発売日指定	全部…すべてを対象とします。 指定…発売日の範囲を指定します。
登録日指定	全部…すべてを対象とします。 指定…登録日の範囲を指定します。
価格設定日指定	全部…すべてを対象とします。 指定…価格設定日範囲を指定します。
仕入業務	売価以外に、ハンディ業務メニュー(仕入・入出庫)を利用する際の単価を指定します。
販売価格指定	マスタから使用する販売価格を指定します。
仕入価格指定	販売原価として、使用する仕入価格を指定します。
無在庫出力	する…在庫が0の商品も範囲対象とします。 しない…在庫が0の商品を範囲から除外します。

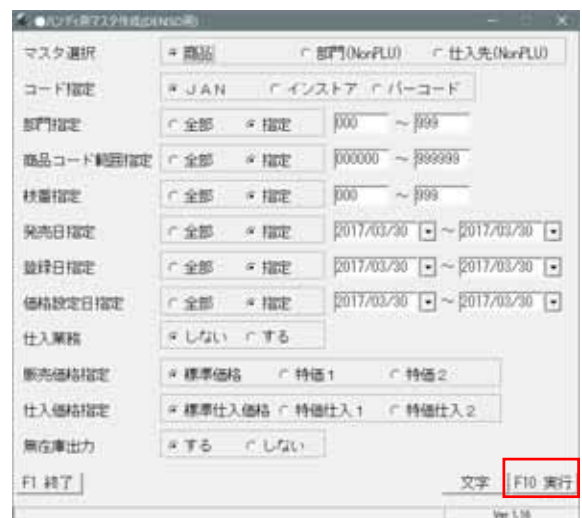
マスタ作成 (BCPOS)

HD-POSで利用する商品マスタをBCPOSで作成します。

ハンディメニューが開きます。
下部タブの「F6 マスタ作成」を押してください。



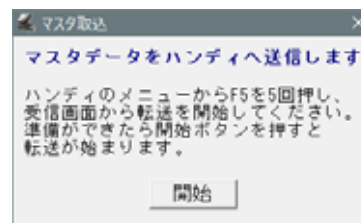
作成する条件を指定して「F10 実行」を押してください。



ハンディ用マスタ作成「商品データ (26 件)
の出力が終了しました」と表示されますので
「OK」を押してください。



マスタ取込画面が開きます。
開始を押してください。



YMODEM送信中と表示されます。
送信処理は、30秒間開いています。
次項、HD-POSデータ受信を行う前に画面が消えた場合には、 ~ の手順を繰り返してください。

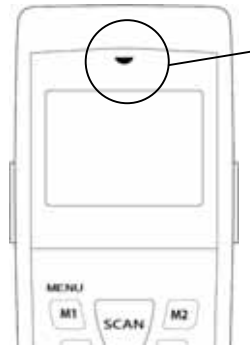


30秒の間に、次項のハンディターミナルの
「商品マスタ受信」の実行が必要です。

商品マスタ受信 (HD-POS)

BCPOSで作成した商品マスタをHD-POSで受信します。

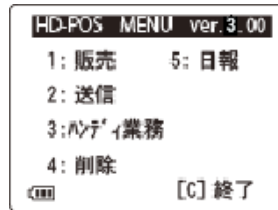
HD-POSとパソコンをUSBケーブルで接続してください。



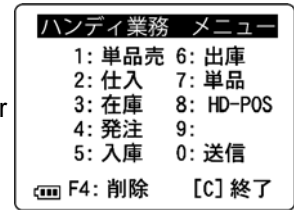
USBケーブルが接続されると、上部のランプが点灯します。



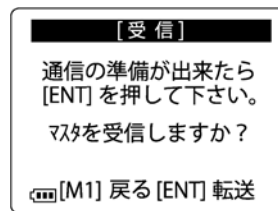
HD-POSのTOPメニューから、**F5** を5回押ししてください。



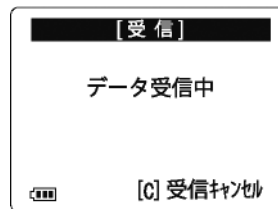
or



受信画面になります。
前項のBCPOSのマスタ作成手順の準備ができたら **ENT** を押してください。

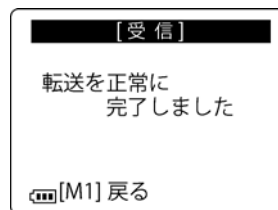


データ受信中表示され受信が開始されます。



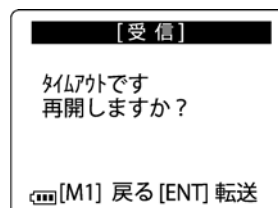
転送を正常に完了しました。

以上でパソコンからHD-POSへのマスタ転送が終了です。



転送エラー

受信を正常に終了できない場合には、右図が表示されますので、原因を解明して、**ENT** を押し再度受信を行ってください。



日付・時刻設定（棚卸開始前に必ず行う）

ハンディターミナルとパソコンの日時を合わせることで、正確な棚卸業務が可能となります。

参照時刻

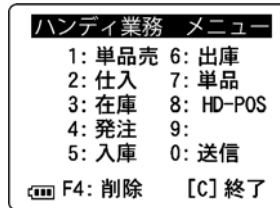
デスクトップ画面右下の「時間」表示を参照して日時を正確に合わせます。

秒単位については、下記「時刻合わせの必要性」をごらんになって頂き、判断してください。



日付設定

TOP画面で、**F3**を5回押してください。



設定画面になります。テンキーの**1**を押してください。

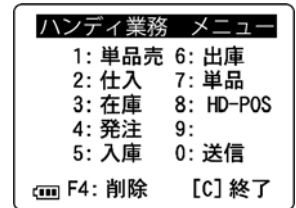


日付設定画面になります。（西暦下2桁/月2桁/日2桁のyy/mm/dd表示。）
テンキーを使い現在日付を入力します。項目ごとに、**ENT**を押して決定します。

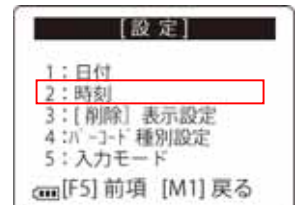


時刻設定

TOP画面で、**F3**を5回押してください。



設定画面になります。テンキーの**2**を押してください。



日付設定画面になります。（現在時刻下2桁/月2桁/日2桁のyy/mm/dd表示。）
テンキーを使い現在日付を入力します。項目ごとに、**ENT**を押して決定します。



時刻合わせの必要性

BCPOSの在庫管理オプションには、営業を行いながら、棚卸しを行い販売された商品を調整する「差分調整」という機能があります。

こちらの機能を利用する（営業しながら棚卸しを行う）際には、在庫数を読取った時間と、在庫数を読取った後の販売等で、在庫数が変更された商品を調整する為に、BCPOSとハンディターミナルの時間が正確に合っている必要がございます。

例) 在庫データ読取り-

営業時間内に棚卸し作業を行う場合には、ハンディでのデータ読取りを行う前に、棚卸開始日時をBCPOSに記録する必要があります。

BCPOS開始メニュー「F7 ハンディメニュー」を押してください。



ハンディメニューより「棚卸開始」ボタンを押します。

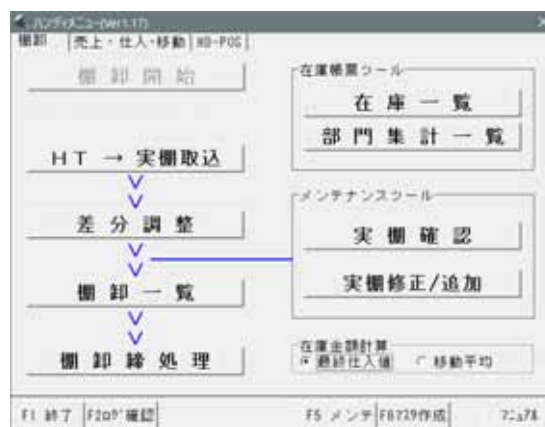
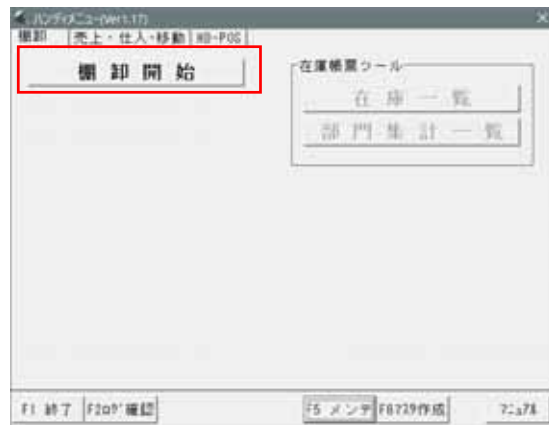
これにより、BCPOSに棚卸し作業の開始時刻が記録され、これ以降に在庫数を読取った商品が販売された場合には、P-21「差分調整」で在庫数が調整されます。

【注意】

ハンディターミナルで在庫を読取る前に必ず「棚卸開始」ボタンを押してください。

「棚卸開始」を押すことで他のメニューが表示されます。

棚卸業務が「在庫金額計算」の手順まで終わらないと、こちらの画面が表示された状態になります。「在庫金額計算」が終了すると、この画面に戻ります。

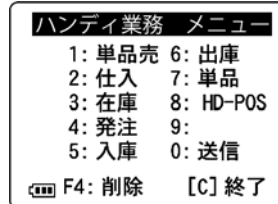


例) 在庫データ読取り-

各種業務データの読取り、修正、削除、送信等は、基本的に全て同じ操作方法になります。在庫データの読取りを参照して頂き、他業務も同様の手順で操作を行ってください。

データの読取り

ハンディ業務メニューTOP画面から、在庫業務を選択しますので、テンキーで **3** を押します。



在庫画面になります。

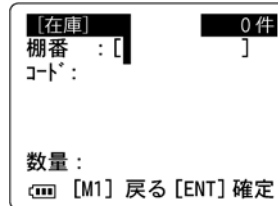
棚番を使用する場合には、棚番（～10桁）をスキャンまたは、入力して **ENT** を押してください。

棚番を使用しない場合には何も入力しないで、**ENT** を押して下さい。

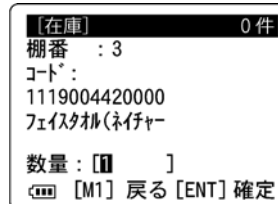
次回以降は、同じ棚番（棚番不要）が入力され、商品コードを連続して読み込みます。

棚番を変更する際には、商品コードにカーソルが合っている時に、**M1** を押すと、棚番に移動しますので、変更してください。

商品の読取り間違えは、数量にカーソルが合っている時に、**M1** を押すとコードがクリアされます。



商品コードの読取り時に、商品マスタに無い商品を読み込むと、右図のように「商品マスタにありません」と表示されますが、商品コード・数量の読み込みは可能です。



BCPOSに商品コードが登録されていないデータの場合には、未登録データとして一覧表示されます。新商品等、BCPOSに登録が必要な場合は、ハンディメニュー「HT実棚取込」前に商品マスタ登録を行ってください。

【棚番について】

スキャン（バーコード読取）

ハンディからPCへデータ転送した後で、棚番検索により確認及び削除が可能になります。

棚番は10文字までの英数字を入力可能です。

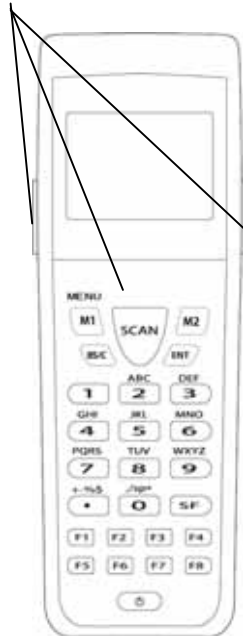
アルファベットを入力する場合は、ハンディ右下の「SF」を押してから携帯電話方式で入力して下さい。

「SF」を押すと画面左下に「ALP」と表示が出来ます、もう一度押すと解除できます。

文字確定は「ENT」を押します。

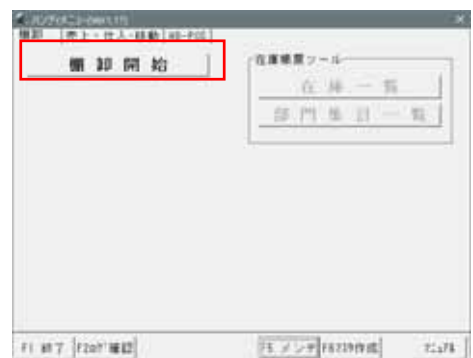
商品の読取件数について

最大9999件まで読取可能ですが、安全のためある程度読取したら、PCへ転送する事をおすすめします。



【確認】

「棚卸開始」をクリックしていないと、棚卸し中に販売した商品等の在庫調整ができなくなりますので、ご確認ください。



例) 在庫データ読取り - (履歴順/修正・削除)

各種業務データの読取り途中等で、読取ったデータを修正したり削除をする場合のデータ呼び出し方法は、読取った履歴順にデータを表示して行く方法と、修正・削除を行いたい商品コードを読取って呼び出す方法の2種類があります。

読取り履歴順にデータを表示後(修正)

コード：にカーソルがあたっている状態(右図)で **F5** を押します。

【在庫】 10件
棚番 : 3
コード : [■]
数量 :
☺ [M1] 戻る [ENT] 確定

在庫修正画面になります。

(一番最後に読取ったデータが表示されます)

F5 キーで、読取った過去にさかのぼります。

F6 キーで、読取った現在に戻ります。

対象の商品コードで、数量の修正を行ってください

【在庫】(修正) 10件
棚番 : 3
コード : 112300486000
ピチソフ
数量 : [5]
☺ [M1] 戻る [ENT] 確定

修正作業が終了したら **M1** で、読取り画面に戻ります。

【在庫】 10件
棚番 : 3
コード : [■]
数量 :
☺ [M1] 戻る [ENT] 確定

読取り履歴順にデータを表示後(削除)

コード：にカーソルがあたっている状態(右図)で **F5** を押します。

【在庫】 10件
棚番 : 3
コード : [■]
数量 :
☺ [M1] 戻る [ENT] 確定

在庫修正画面になります。

(一番最後に読取ったデータが表示されま。)

F5 キーで、読取った過去にさかのぼります。

F6 キーで、読取った現在に戻ります。

対象の商品コードで、**F1** を押して下さい。

【在庫】(修正) 10件
棚番 : 3
コード : 112300486000
ピチソフ
数量 : [5]
☺ [M1] 戻る [ENT] 確定

ブザー音と共に削除され、在庫画面になり、右上の入力件数が、10件から9件に減っています。

【在庫】 9件
棚番 : 3
コード : [■]
数量 :
☺ [M1] 戻る [ENT] 確定

営業時間内の棚卸し(在庫読取りについて)

P-21「差分調整」は、営業中の棚卸しで在庫数を読取った後に、商品が販売されてしまった商品の在庫数調整を行います。同じ商品が2箇所以上にある場合には、最後に読取った時刻を基準として差分調整を行います。この為、同一商品が二箇所以上にある場合には、可能な限り同一時刻で読取る必要があります。

例) 在庫データ読取り- (読取り/修正・削除)

変更したい商品コードを読取って、商品を読み出し後に修正・削除を行います。

商品を読取りデータを表示後(修正)

コード：にカーソルがあたっている状態(右図)で **F4** を押します。

[在庫]	10件
棚番 : 3	
コード : []	
数量 :	
☰ [M1] 戻る [ENT] 確定	

在庫S修正画面になります。
対象の商品のバーコードを読取ってデータを呼び出し、数量の修正を行ってください

[在庫] (S修正)	10件
棚番 : 3	
コード :	
112300486000	
ピ-チソ-ブ	
数量 : [5]]	
☰ [M1] 戻る [ENT] 確定	

修正作業が終了したら **M1** で、読取り画面に戻ります。

[在庫]	10件
棚番 : 3	
コード : []	
数量 :	
☰ [M1] 戻る [ENT] 確定	

商品を読取りデータを表示後(削除)

コード：にカーソルがあたっている状態(右図)で **F4** を押します。

[在庫]	10件
棚番 : 3	
コード : []	
数量 :	
☰ [M1] 戻る [ENT] 確定	

在庫S修正画面になります。
対象の商品のバーコードを読取ってデータを呼び出し、**F1** を押してください。
ブザー音と共に削除されます。

[在庫] (S修正)	10件
棚番 : 3	
コード :	
112300486000	
ピ-チソ-ブ	
数量 : [5]]	
☰ [M1] 戻る [ENT] 確定	

ブザー音と共に削除され、在庫画面になり、右上の入力件数が、10件から9件に減っています。

[在庫]	9件
棚番 : 3	
コード : []	
数量 :	
☰ [M1] 戻る [ENT] 確定	

例) 在庫データ読取り- (マイナス読取り)

商品コードを読取って数量をマイナスで入力する事で、後述の「差分調整」時に数量が差し引かれて登録されます。

データの読取り

ハンディ業務メニューTOP画面から、行う業務をテンキーで選択します。

```

ハンディ業務 メニュー
1: 単品売 6: 出庫
2: 仕入 7: 単品
3: 在庫 8: HD-POS
4: 発注 9:
5: 入庫 0: 送信
☐ F4: 削除 [C] 終了
    
```

在庫画面になります。

```

[在庫] 0件
棚番 : [ ]
コード:
数量:
☐ [M1] 戻る [ENT] 確定
    
```

修正したい商品のバーコードを読取ります。

```

[在庫] 0件
棚番 : 3
コード:
1119004420000
フェイスル(ネイチャー)
数量: [ ]
☐ [M1] 戻る [ENT] 確定
    
```

数量にカーソルがあたっている状態で **F3** を押して下さい。

(数量: **1**) から、(数量: **-1**) に変わります。

```

[在庫] 0件
棚番 : 3
コード:
1119004420000
フェイスル(ネイチャー)
数量: [1]
☐ [M1] 戻る [ENT] 確定
    
```



```

[在庫] 0件
棚番 : 3
コード:
1119004420000
フェイスル(ネイチャー)
数量: [-1]
☐ [M1] 戻る [ENT] 確定
    
```

変更したい数量を入力して **ENT** を押してください。

読取り画面に戻ります。

通常の数量入力画面に戻ります。

```

[在庫] 1件
棚番 : 3
コード: [ ]
数量:
☐ [M1] 戻る [ENT] 確定
    
```

```

•4213005670000 2個
1315004170000 3個
1113008940000 3個
•4213005670000 3個
}
•4213005670000 -2個
1233005970000 3個
    
```

差分調整時に差引される

```

•4213005670000 3個
1315004170000 3個
1113008940000 3個
1233005970000 3個
    
```

HT 実棚取込み (ハンディデータ転送)

棚卸データをBCPOSに転送します。順を追ってHD-POSとBCPOSを操作してください。

HD-POSを、PCにUSB接続してください。
ハンディ業務メニューTOPから、送信を選択します。テンキーの **0** を押してください。



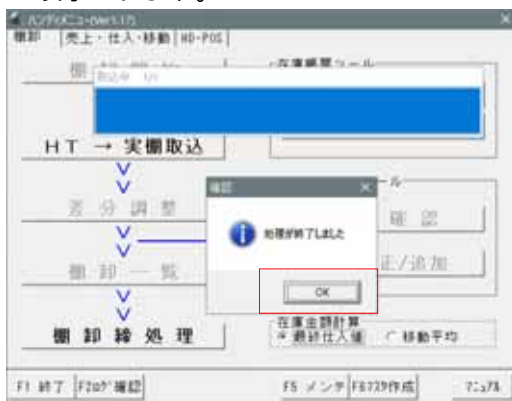
ハンディ業務メニュー	
1: 単品売	6: 出庫
2: 仕入	7: 単品
3: 在庫	8: HD-POS
4: 発注	9:
5: 入庫	0: 送信
F4: 削除 [C] 終了	

「ハンディ業務メニュー」は「M1」を数回押す事で表示できます。

転送しますか?と聞かれますので、**ENT** を押してください。データ送信中と表示され転送が開始されます。

[送信]	[送信]
通信の準備が出来たら [ENT]を押して下さい。 転送しますか?	データ送信中
F4 [M1] 終了 [ENT] 転送	[C] 送信キャンセル

ハンディメニューに「処理が終了しました」と表示されます。



主にBCPOSのデータベースに無い商品を取込みと、P-24「取込み済みハンディデータ」のエラーデータ存在時画面が表示されます。

ハンディデータを再転送する場合は P-24参照
ハンディデータ(実棚在庫)確認は P-26参照

BCPOS開始メニュー「F7 ハンディメニュー」を押してください。



YMODEM受信中と表示されます。受信処理は、30秒間の間で右記 を実行してください。

HD-POSデータ送信を行う前に画面が消えた場合には、再度HT PC転送ボタンを押してください。

転送を正常に終了いたしました。

[送信]
転送を正常に 終了しました。
F1 [F1] 戻る

【転送エラー】

転送を正常に終了できない場合には、右図が表示されますので、**ENT** を押して再度転送を行ってください。

[送信]
タイムアウトです 再開しますか?
F4 [M1] 終了 [ENT] 転送

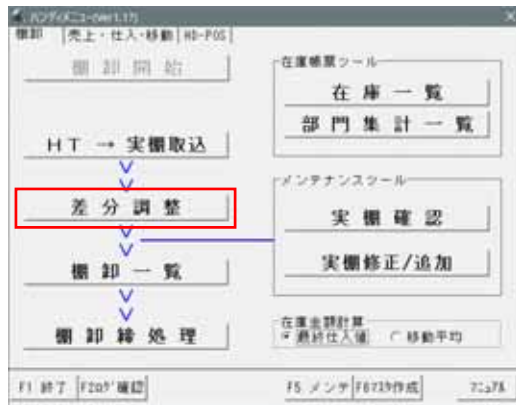
取込み済みハンディデータの確認は P-24参照

差分調整 (棚卸中の変動在庫数調整)

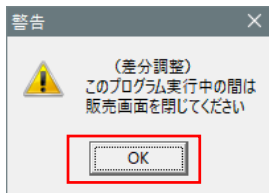
営業しながら棚卸入力を行う場合、実棚数を入力した商品が後から販売される可能性があります。その場合、そのまま実在庫を反映させてしまうと誤差が生じてしまいますので、「差分調整」作業にてハンディで読取りした日時と販売された日時を比較して実棚数の自動調整を行います。

営業中の棚卸ではない場合には「差分調整」は不要ですが、実行しても構いません。後述の棚卸手入力後に「差分調整」を行うと手入力分が削除されますのでご注意ください。

ハンディメニューの「差分調整」を選択。

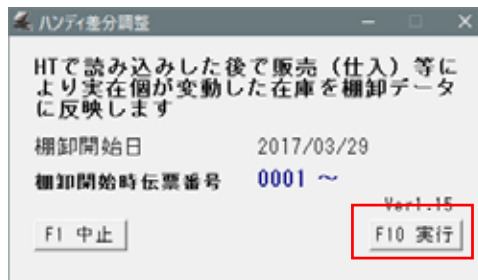


レジ販売画面を開いている場合は閉じてから「OK」を押します。

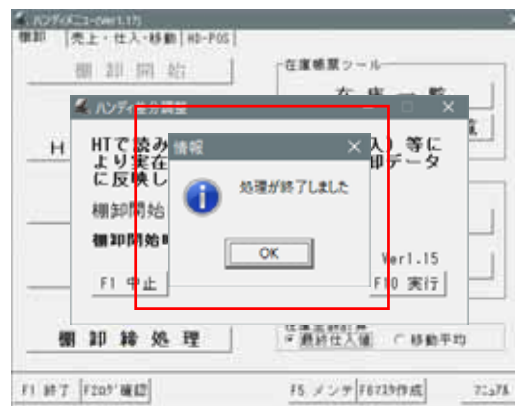


「棚卸開始」ボタンを押した時点の日付と伝票番号が表示されます。

表示内容に問題がなければ「F10実行」を押します。



終了表示が出たら「OK」を押して終了です。

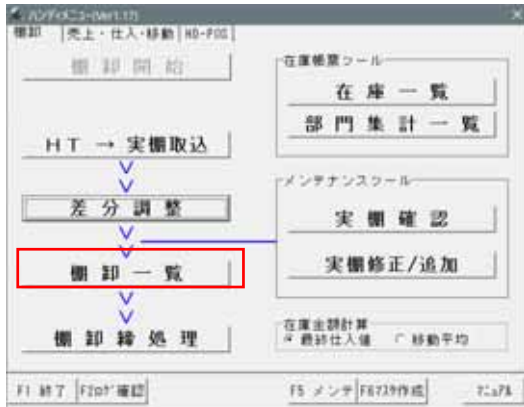


差分調整後の在庫データ(実棚在庫)確認はP-26参照

棚卸一覧 (理論在庫と実在庫の比較)

ハンディで読込んだ実在庫と、BCPOSの理論在庫を比較する「棚卸一覧」を表示します。

ハンディメニューの「棚卸一覧」を選択。



棚卸一覧が表示されます。一覧表の表示条件を選択して「F10実行をおしてください。



「F8設定」について

「F8設定」を押すと、「表示条件設定」が開きます。

「スキャンしていない商品も差異表示する」を、「する」にした場合在庫数が「0」で表示され、理論在庫が残っている場合には、「在庫差異」にマイナス表示されます。

設定が保持されますので変更する場合には、「F8設定」で、再度設定してください。

「棚卸一覧」が表示されます。

- ・理論在庫数・実在庫数
- ・在庫差異・原価・棚番
- ・原価×差異 (在庫差異金額)
- ・差異数の合計
- ・差異金額の合計金額・・・等

が一覧表示されます。

テキストでの保存、印刷が可能です。

在庫差異を見て、実在庫の修正を行いたい場合等は、後述P-25の「棚卸しデータ修正」を行ってください。

棚卸一覧 理論在庫、実在庫にマスクがないもの(空白)は在庫差異が出せません。

部門:全部 表示条件:全部 ソート順:商品コード 照合キー:商品コード 仕入先:全部
 コード範囲:全部 加算範囲:全部 枝番:全部

実在庫=棚卸しへの在庫 理論在庫=商品への在庫

商品コード	JAN	メーカー名	商品名	理論在庫	実在庫	在庫差異	原価	差異×原価	
402-000001-000	4912345000101	白陽衣料	ジャケット/S	56	56				
402-000002-000	4912345000149	白陽衣料	ジャケット/M	48	48				
402-000003-000	4901777130340	白陽衣料	ジャケット/L	43	43				
404-000003-000	4912345000231	白陽衣料	BDジャケット/レイン	42	42				
404-000004-000	4912345000248	白陽衣料	ジャケット/01	43	43				
404-000005-000	4912345000255	白陽衣料	ジャケット/02	30	30				
404-000006-000	4912345000200	白陽衣料	ジャケット/03	41	40				
406-000002-000	4912345001009	白陽衣料	ダブルコート	50	50				
406-000003-000	4912345001016	白陽衣料	モッズコート	49	49				
402-000001-000	4912345000070	白陽衣料	ジャケット/01	50	50				
該当本数 108 本				理論在庫計	5396 本	在庫差異計	-4784 本	差異金額計	-8571000
				実在庫計	552 本	実在庫金額計	3471720		

在庫管理フラグがOFFのデータは表示しません

F1戻る F4 戻す F5 DOWN F6 UP F7 先頭 F8 最後 F9 印刷

実在庫をハンディターミナルで読取る際に、棚番入力(P-16参照)し、ハンディ棚番(図下段)を表示にすると右図の様に表示されます。

棚卸一覧表は、テキストでの保存、印刷が可能です。

棚卸一覧 理論在庫、実在庫にマスクがないもの(空白)は在庫差異が出せません。

部門:全部 表示条件:全部 ソート順:商品コード 照合キー:商品コード 仕入先:全部
 コード範囲:全部 加算範囲:全部 枝番:全部

実在庫=棚卸しへの在庫 理論在庫=商品への在庫

商品コード	JAN	メーカー名	商品名	理論在庫	実在庫	在庫差異	原価	差異×原価	
402-000001-000	491234500	白陽衣料	ジャケット/S 棚番 A12	8	8	0	14000	0	
402-000002-000	491234500	白陽衣料	ジャケット/M 棚番 A12	9	7	-2	14000	-28000	
402-000003-000	490177713	白陽衣料	ジャケット/L 棚番 A12	7	6	-1	14000	-14000	
409-000001-000	491234500	白陽衣料	ジャケット/レイト 棚番 O75	9	8	-1	6200	-6200	
409-000002-000	491234500	白陽衣料	ジャケット/S*	9	9	0	6200	0	
該当本数 108 本				理論在庫計	5398 本	在庫差異計	-4784 本	差異金額計	-8571000
				実在庫計	552 本	実在庫金額計	3471720		

在庫管理フラグがOFFのデータは表示しません

F1戻る F4 戻す F5 DOWN F6 UP F7 先頭 F8 最後 F9 印刷

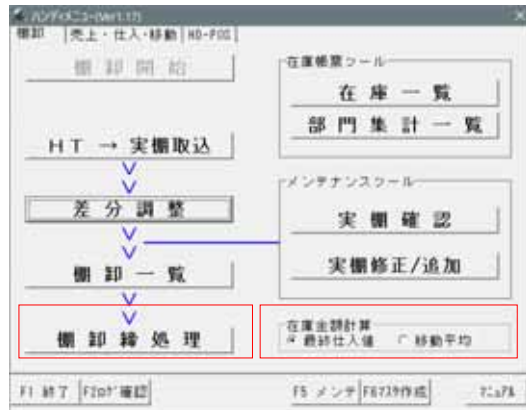
棚卸締処理 (実在庫の反映)

理論在庫(現在のBCPOS在庫)を0にし、ハンディで読取った実在庫を反映させて、在庫金額を再計算します。

「在庫金額計算」で、計算方法を選択。
最終仕入値 または 移動平均

「棚卸締処理」をクリック。

在庫評価	説明	備考
最終仕入値	商品マスタの現在の仕入値	主に仕入値の変動が無い場合に使用
移動平均	移動平均により計算した在庫単価	仕入値の変動がある場合に主に活用 適正な在庫単価による在庫金額の把握が可能



在庫一括変更が表示されますので、そのまま「F10実行」を押す。



クラウド型店舗本部管理システム (TenpoVisor) の利用が
「利用なし」 「利用あり」

締め処理が終了しました



「TenpoVisorに在庫を送信します」と表示されますので「OK」



締め処理が終了しました



ハンディデータ再転送

1度ハンディーターミナルからデータ転送すると同じ手順でデータを転送する事ができなくなります。(直前のデータを再転送したい場合は下記の方法で転送して下さい)

ハンディ業務メニューで、「0：送信」を押してください。

ハンディ業務メニュー

1: 単品売 6: 出庫
 2: 仕入 7: 単品
 3: 在庫 8: HD-POS
 4: 発注 9:
 5: 入庫 **0: 送信**

F4: 削除 [C] 終了

送信画面になりますので、**F2**を押してください。

[送信]

通信の準備が出来たら [ENT] を押して下さい。
 転送しますか?

[M1] 終了 [ENT] 転送

再送信画面になります。**ENT** で再送信して下さい。

[再送信]

通信の準備が出来たら [ENT] を押して下さい
 再送信しますか?

[M1] 戻る [ENT] 転送

注)送信画面で、**ENT**を押すと、「実績データが[0]です」と表示されてしまいます。

[送信]

実績データ件数が [0] 件です。 [ENT] を押して下さい
 転送しますか?

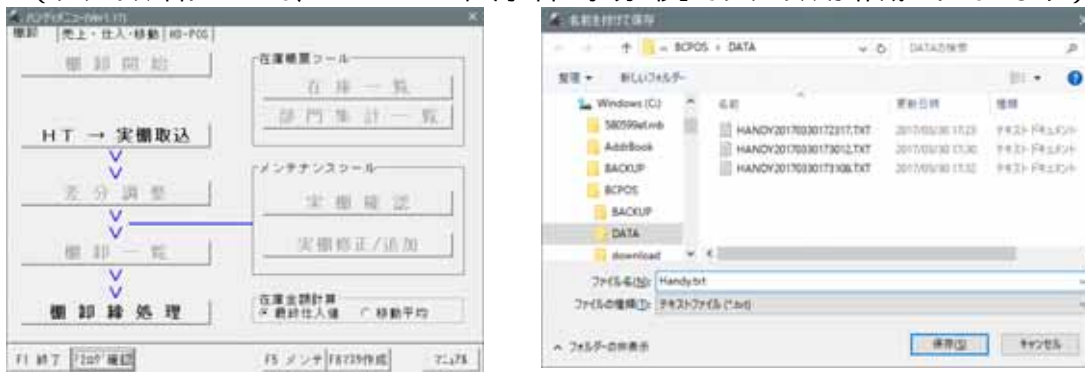
[M1] 戻る [ENT] 転送

Point! 前回送信後に次のスキャンを始めていた場合でも「F2」を押すことで再送信画面になりますので、前回送信した時点のデータを再送信可能です。

取込み済みハンディデータの確認

「HT 実棚取込み (ハンディデータ転送)」(P-20)の処理単位(一回の取込みで複数台のハンディデータを取り込んだ場合は、合計台数分)で、取込み済みのハンディデータを確認する事ができます。また、取込みの際にエラーがあると、強制的に表示されます。

① ハンディメニュー「F2 ログ確認」を押すと、フォルダが表示されますので対象のファイルを選択します。(ファイル名について、「HANDY+年+月+日+時+分+秒」でファイルが作成されています)



対象の取込み済みハンディデータを表示します。

区分欄に「追加」と表示されている商品は、コードを2回読取っています。間違えている場合は、次項の「実棚修正/追加」で修正を行ってください。

エラー無し

No.	区分	取込コード	数量	金額	処理結果
1	新規	30000009000	4	0	0正常取込
2	追加	201000014000	5	0	0正常取込
3	追加	201000015000	3	0	0正常取込
4	新規	201000017000	10	0	0正常取込
5	追加	201000008000	3	0	0正常取込
6	新規	201000004000	12	0	0正常取込
7	新規	201000004000	3	0	0正常取込
8	新規	201000004000	12	0	0正常取込
9	新規	201000024000	5	0	0正常取込
10	新規	300000000000	21	0	0正常取込
11	新規	201000004000	5	0	0正常取込
12	追加	201000004000	8	0	0正常取込

エラーデータ存在時

No.	区分	取込コード	数量	金額	処理結果
1	新規	201000014000	5	0	0正常取込
2	新規	201000015000	4	0	0正常取込
3	新規	201000004000	7	0	0正常取込
4	新規	201000008000	8	0	0正常取込
5	NG	4902102010022	3	0	0商品マスタ未登録
6	NG	490210402202	2	0	0商品マスタ未登録
計6件 実棚4件 未登録2件					
1	新規	201000010000	3	0	0正常取込
2	追加	201000015000	5	0	0正常取込
3	NG	4902105040004	5	0	0商品マスタ未登録
計3件 実棚2件 未登録1件					

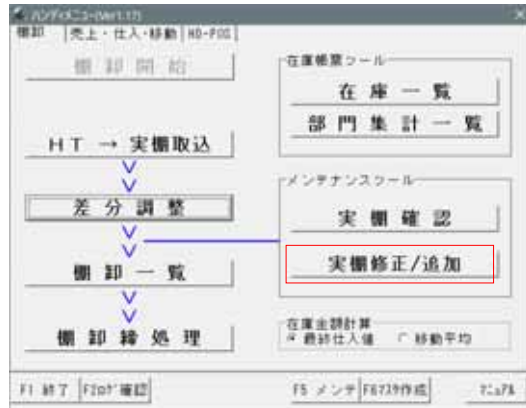
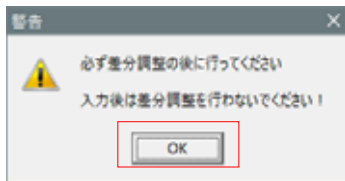
実棚修正/追加 (棚卸データ修正)

データベースへ取り込んだ後に読取り忘れや、数量変更がある場合にハンディを使用せずに手入力で追加や数量の修正を行えます。

差分調整後に行ってください。差分調整前に行うと入力したデータが消えます。

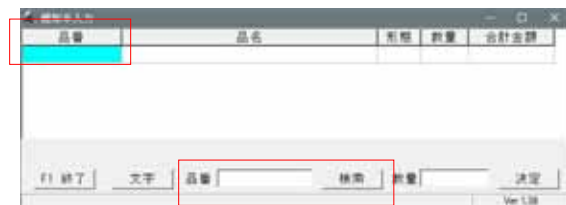
ハンディメニューの「実棚修正/追加」を選択。

追加前に「差分調整」が済んでいるか、「差分調整」の必要が無い場合は「OK」を押して進んで下さい。



品番の欄でコードをスキャンするか、コードを入力して下さい。

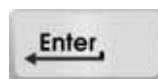
商品が表示されます。



数量の欄へカーソルが移りますので、正しい数量を入力して下さい。(例:現在の数量が12だが、商品を2個読取りもれていたので2個追加したい場合は、数量に14を入力します)
マイナス入力も可能です。



入力終了しましたら、キーボードで「Enter」ボタンを2回押して下さい。



改行され、空白行が追加されたら、商品の修正/追加作業が完了になります。

引き続き訂正したい場合は ~ の手順を繰り返して下さい。

終わりましたら「F1終了」を押して下さい。



実棚確認 (ハンディデータの確認)

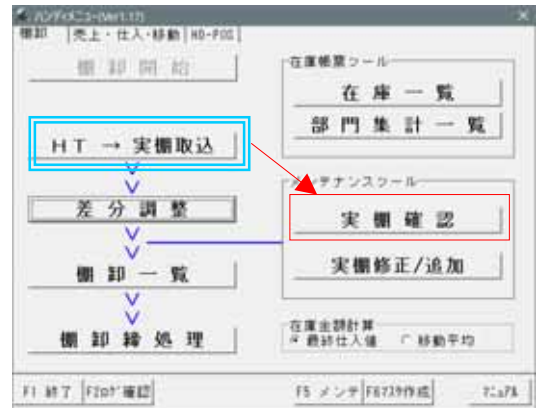
ハンディで読取った実在庫の確認と、棚卸調整後のハンディで読取った実在庫と棚卸し中に変動のあった在庫の確認ができます。

「ハンディで読取った実在庫」の確認

「HT 実棚取込」

「実棚確認」

ハンディターミナルで読取った在庫だけを表示します。



●実棚確認

ショップ名: ビジコム江戸川橋店

金額指定 仕入値 移動平均 売値税抜 売値税込

NO	JANコード	商品コード	商品名	数量	金額
1	4912345000149	402-000002-000	ｼﾞｬｯｸｯﾄ/ﾊﾞ	5	70000
2	4912345000125	404-000001-000	BDｼﾞｬｯｸ/ｽﾄﾗｲﾌﾞ	20	30000
3	4912345000132	404-000002-000	BDｼﾞｬｯｸ/ﾌｯﾄ	30	45000
4	4912345000248	404-000004-000	Tｼﾞｬｯｸ/01	40	55200
5	4912345000231	404-000003-000	BDｼﾞｬｯｸ/ﾌﾞﾚｲﾝ	50	75000

取込済データ数=10件 数量合計 391 金額合計 ¥2,549,000 Ver1.08

F1 終了 F3 終了 F9 印刷

「ハンディで読取った実在庫」と「棚卸し中に変動のあった在庫」の確認

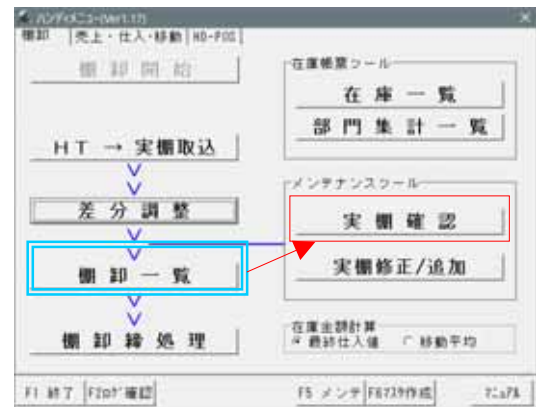
「HT 実棚取込」

「差分調整」

「実棚確認」

ハンディターミナルで読取った在庫と、棚卸し中に、販売・仕入・移動等で変動があった商品の在庫数を表示します。

例) 赤枠が在庫変動があった商品 (処理の時系列順表示)



●実棚確認

ショップ名: ビジコム江戸川橋店

金額指定 仕入値 移動平均 売値税抜 売値税込

NO	JANコード	商品コード	商品名	数量	金額
1	4912345000149	402-000002-000	ｼﾞｬｯｸｯﾄ/ﾊﾞ	5	70000
2	4912345000125	404-000001-000	BDｼﾞｬｯｸ/ｽﾄﾗｲﾌﾞ	20	30000
3	4912345000132	404-000002-000	BDｼﾞｬｯｸ/ﾌｯﾄ	30	45000
4	4912345000248	404-000004-000	Tｼﾞｬｯｸ/01	40	55200
5	4912345000231	404-000003-000	BDｼﾞｬｯｸ/ﾌﾞﾚｲﾝ	50	75000

取込済データ数=10件 数量合計 391 金額合計 ¥2,549,000 Ver1.08

F1 終了 F3 終了 F9 印刷

例) 赤枠が在庫変動があった商品 (処理の時系列順表示)

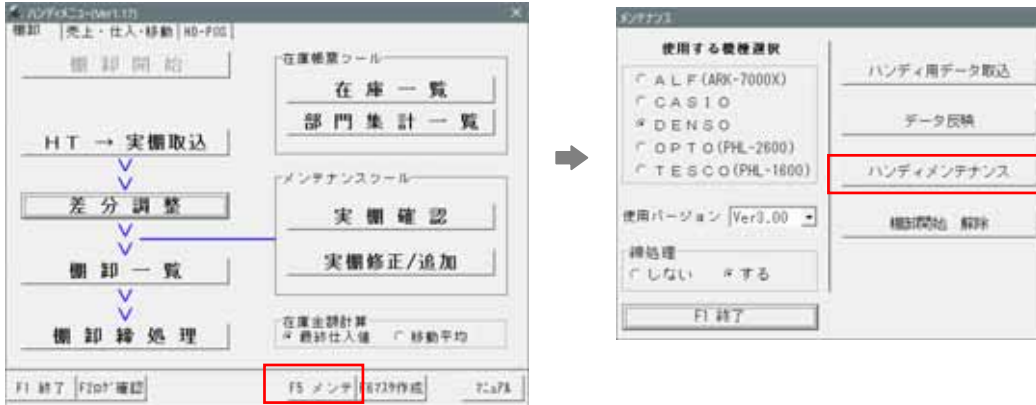
上図「HT 実棚」直後の棚卸チェックリストから増加した項目

表の右「金額」は、上段の「仕入値」「移動平均」「売値税抜」「売値税込」に準じます。

ハンディメンテナンス (棚番運用時等)

データベースへ取り込んだ後で棚番（追加項目）毎に読み込みした商品を確認したり、商品コードや棚番（追加項目）で、範囲指定後にハンディデータを一括で削除することが可能です。棚卸する必要の無い棚を読み込んでしまったような場合に特定の棚の分を削除できます。

ハンディメニューの「ハンディメンテナンス」を選択。



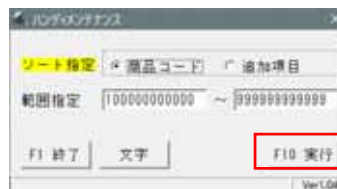
ハンディメンテナンスが開きますので、条件を指定して「F10 実行」を押します。

【ソート指定】

「商品コード」or「追加項目」を選択します。

【範囲指定】

「商品コードの範囲」or「追加項目の範囲」条件を指定して「F10 実行」を押します。

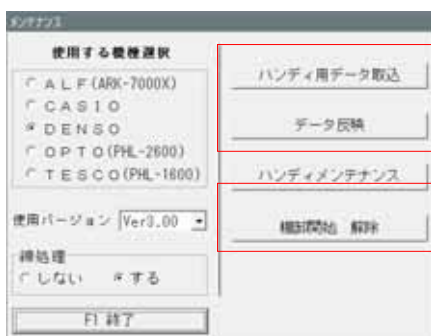
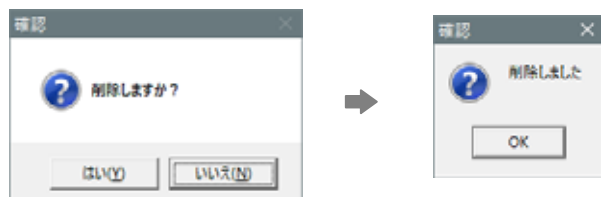


画面に対象データが表示されます。

データ確認のみの場合は「F1終了」を押します。内容を確認し削除する場合は「F10 削除」を押して下さい。

商品コード	商品名	JAN	追加コード	金額	数量	属性	日時区分	マイナズ区分
4300000100	ジャコフM	4912145000149		0	0.0		20170330185100.0	
4300000200	ジャムルーZ	4912145000194		0	50.0		20170330185100.0	
4300000300	ジャムルーZ	4912145000217		0	50.0		20170330185100.0	
4340000100	DDジャコフ54cm	4912145000125		0	20.0		20170330185100.0	
4340000200	DDジャコフ56	4912145000132		0	20.0		20170330185100.0	
4340000300	DDジャコフ58cm	4912145000201		0	50.0		20170330185110.0	
4340000400	ジャコフZ	4912145000248		0	40.0		20170330185112.0	
4350000000	ジャコフZ	4912145000217		0	40.0		20170330185112.0	
4360000100	ピーコート	4912145000224		0	40.0		20170330185127.0	
4360000200	ジャコフコート	4912145001909		0	40.0		20170330185131.0	

確認画面が表示されますので「はい」を押すと表示されたデータが削除されます。



【メンテナンスについて】

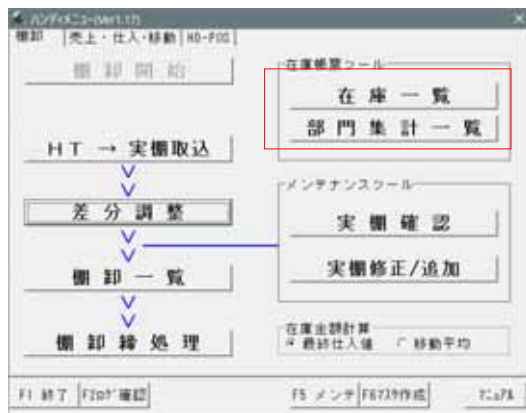
→ 以前の棚卸や棚卸以外のデータの取込・反映

→ 主に、棚卸を途中で解除する場合や、誤って「棚卸開始」を押してしまった際の棚卸解除ボタン

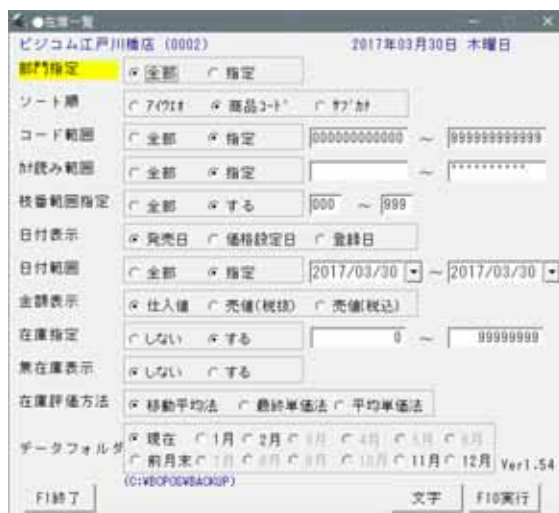
帳票関連-

在庫関連の各種帳票を出力することができます。

ハンディメニュー「在庫帳票ツール」から下記、帳票の出力が可能です。

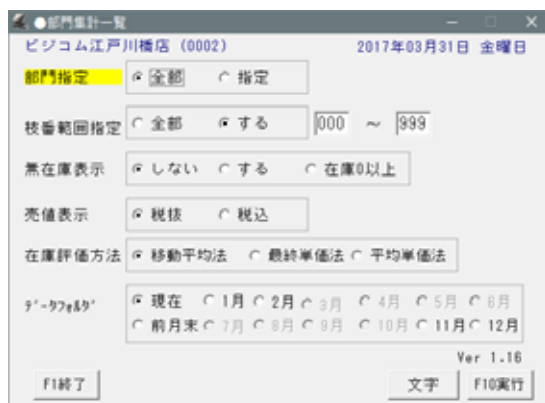


「在庫一覧」商品の在庫数、在庫金額を各条件指定をして帳票出力します。



商品コード	JAN	メーカー	商品名	理論在庫	実在庫	在庫差異
403-000002-000	4812345000184	白鷺衣料	フタムシ	48	50	2
403-000003-000	4812345000217	白鷺衣料	フタムシ/グレイ	48	89	29
404-000001-000	4812345000125	白鷺衣料	80ジャコ/ホワイト	48	20	-28
404-000002-000	4812345000132	白鷺衣料	80ジャコ/レッド	48	30	-18
404-000003-000	4812345000231	白鷺衣料	80ジャコ/ブルー	48	50	4
404-000004-000	4812345000248	白鷺衣料	Tジャコ1	48	40	-8
404-000005-000	4812345000255	白鷺衣料	Tジャコ2	48	46	0
404-000006-000	4812345000260	白鷺衣料	Tジャコ3	48	46	0
405-000001-000	4812345001023	白鷺衣料	9-5M/グ	48	46	0
405-000002-000	4812345001030	白鷺衣料	6-3M/グ	48	46	0
405-000003-000	4812345000217	白鷺衣料	2M-6M/グ	47	44	-3
407-000003-000	4812345000278	白鷺衣料	カズマ/グ	48	48	0
407-000004-000	4812345000288	白鷺衣料	ビッグ22&2	48	48	0

「部門集計一覧」部門毎の在庫数、在庫金額を各条件指定して帳票出力します。



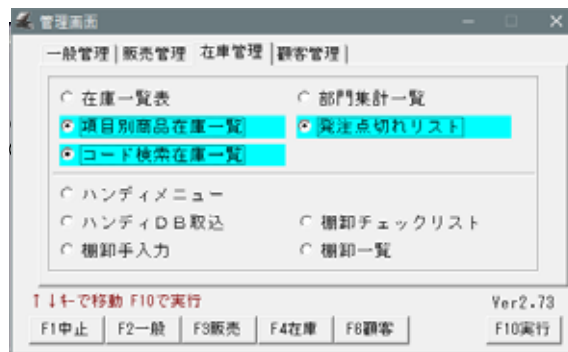
部門	仕入値合計	売値合計	在庫金額合計	在庫合計
201	844850	1610000	844850	1400
300	1740450	3310000	1740450	1300
401	1237500	2345404	1237500	189
402	2030000	3690975	2030000	145
403	874200	930831	874200	141
404	409200	1222873	409200	284
405	504000	1202433	504000	141
406	2171000	5010407	2171000	143
407	520940	1177654	520940	194
511	90000	235000	90000	150
711	803000	1921500	803000	600
990	628000	1250900	628000	400

仕入値合計 ¥11,853,140 売値合計 ¥24,832,977
 在庫金額合計 ¥11,853,140 在庫計 5337本
 売値合計=税抜価格×在庫 仕入値合計=仕入値×在庫

帳票関連-

在庫管理メニューからも各種帳票を出力することができます。

BCPOS「管理メニュー」>「在庫管理」から
下記、帳票の出力が可能です。



「項目別在庫一覧」詳細な在庫一覧を見る為に、仕入先・メーカー・サブジャンルから在庫数を表示します。



商品コード	商品名	商品名サブ	販売金額	販売金額計	在庫数	在庫金額
40100004000	アーガイル柄ニットセーター		9000	450000	50	195000
71100008000	オリジナルオイル		3300	165000	50	54000
71100009000	オリジナルクレンジング		1650	82500	50	35000
711000010000	オリジナルサブリ		2200	110000	50	47500
711000011000	オリジナルバック		8600	330000	50	127500
711000012000	オリジナルローション		1980	99000	50	27500
★小計				1236500	300	486500

「発注点切れリスト」登録した数量を割り込んだ、在庫数を一覧表示します。



商品コード	商品名	JAN	型番1	型番2	登録日	仕先No	在庫
40100004000	アーガイル柄ニット	4903000000000			1899/12/30	0	50
71100007000	オリジナルクリーム	4912345000071			2014/01/14	3	50
71100008000	オリジナルオイル	4912345000101			2014/01/14	0	50
71100009000	オリジナルクレンジ	4912345000125			2014/01/14	0	50
711000010000	オリジナルサブリ	4901777130340			2014/01/14	0	50
711000011000	オリジナルバック	4912345000149			2014/01/14	0	50
711000012000	オリジナルローシ	4912345000088			2014/01/14	0	50

「コード検索在庫一覧」各種コードから在庫数を一覧表示します。



商品コード	商品名	JAN	型番1
201000020000	コーラックII/120錠	4987306019287	
40500002000	かこ'n'ツク	4912345001030	p-c-10001
40400002000	BD'ye/t'ot	4912345000132	s-bd200003
71100002000	ワッ'fko-ツク	4912345000088	eto-100002
40600002000	ダッフルコート	4912345001009	coat-40001
40200001000	ジ'etot/S	4912345000101	j456001
711000012000	オリジナルローション	4912345000088	

HD-POS

HD-POS ver3.0

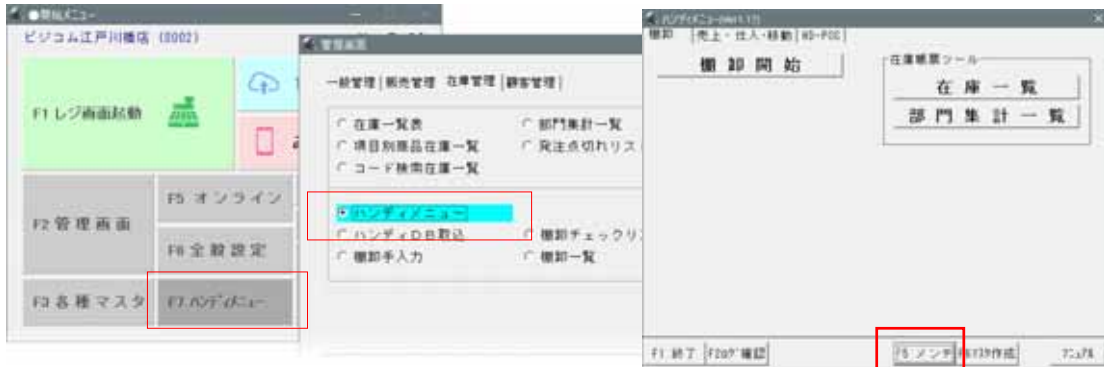
ハンディ仕入・移動業務

BCPOS ver7.0 ~ 「在庫管理 オプション」

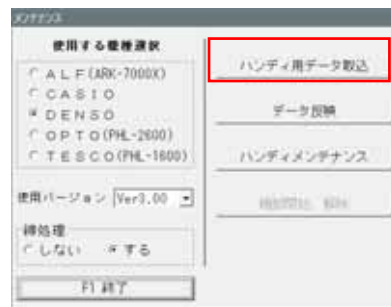
仕入・移動業務 設定

ハンディターミナルで行った、仕入・移動業務のデータ取込時に使用する商品の金額を設定します。

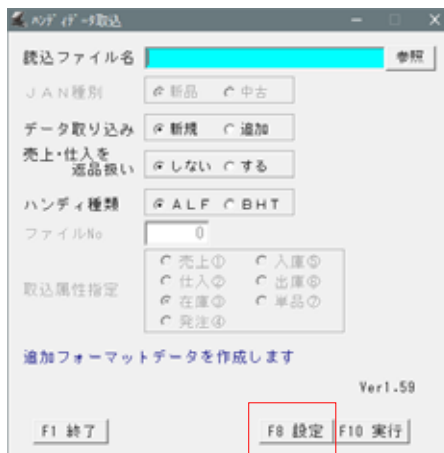
「F7 ハンディメニュー」 > 「ハンディメニュー」 > 「F5 メンテ」 を押してください。



メンテナンスより「ハンディ用データ取込」をクリックします。

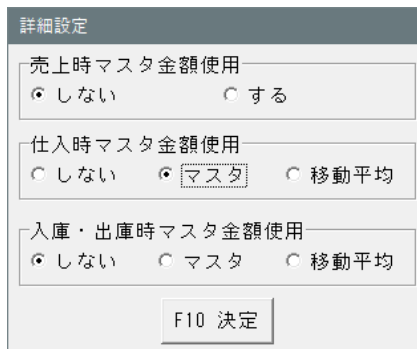


ハンディデータ取込みが開きますので、「F8設定」を押して下さい。



「仕入」、「入庫・出庫」については、個別に移動平均を使用するか、BCPOSのマスタ金額を使用するかを選択し「F10決定」を押します。

1度設定すれば変更しない限り有効

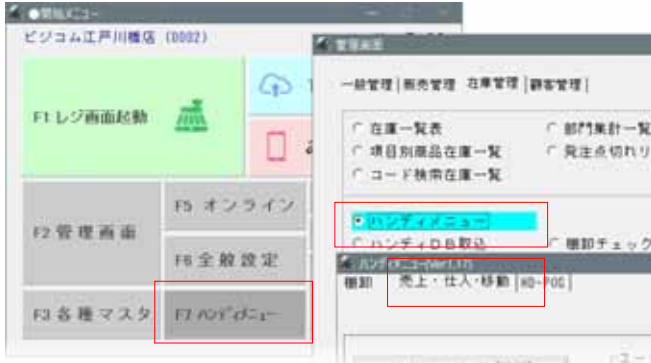


仕入・移動（データ転送）

ハンディターミナルで行った、棚卸以外の、仕入・入庫・出庫・単品業務の取り込みは、「売上・仕入・移動」タブからBCPOSにデータを取り込みます。

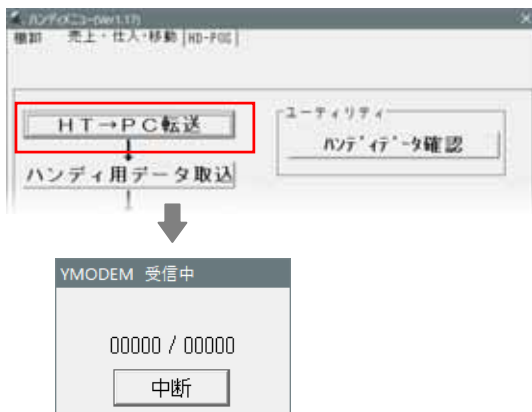
ハンディターミナルの読取り方法はP-15～P19を参照してください。

「F7 ハンディメニュー」を押してください。



「ハンディターメニュー」>「売上・仕入・移動」を押します。

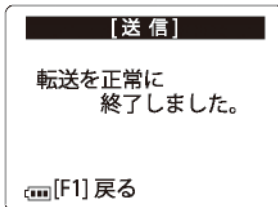
「HT PC転送」をクリックして、ハンディターミナルのデータを取り込みます。



YMODEM受信中表示されます。受信処理は、30秒間の間で右記 を実行してください。

HD-POSデータ送信を行う前に画面が消えた場合には、再度HT PC転送ボタンを押してください。

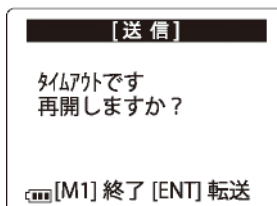
転送を正常に終了いたしました。



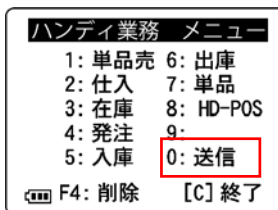
ハンディデータを再転送する場合はP-24参照

【転送エラー】

転送を正常に終了できない場合には、右図が表示されますので、[ENT] を押して再度転送を行ってください。

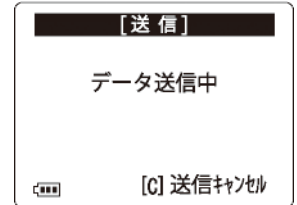
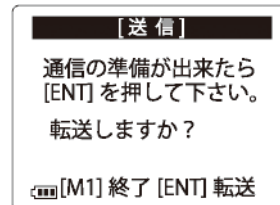


HD-POSを、PCにUSB接続してください。ハンディ業務メニューTOPから、送信を選択します。テンキーの [0] を押してください。

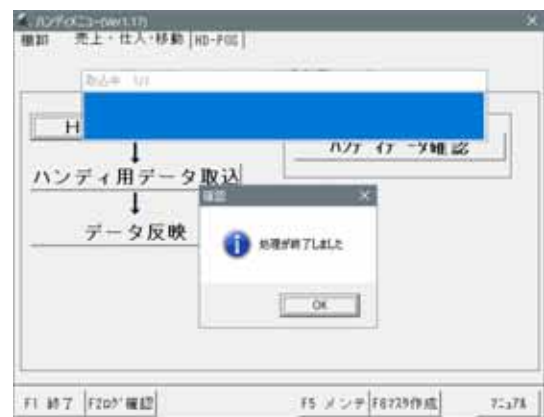


「ハンディ業務メニュー」は「M1」を数回押す事で表示できます。

転送しますか?と聞かれますので、[ENT] を押してください。データ送信中表示され転送が開始されます。



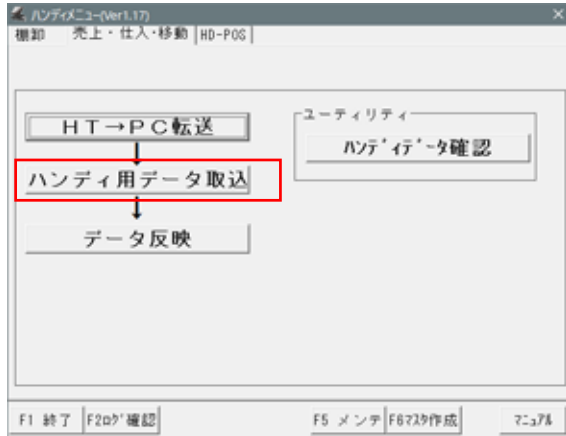
ハンディメニューに「処理が終了しました」と表示されます。



仕入・移動（ハンディデータ取込）複数台・複数回の場合-1

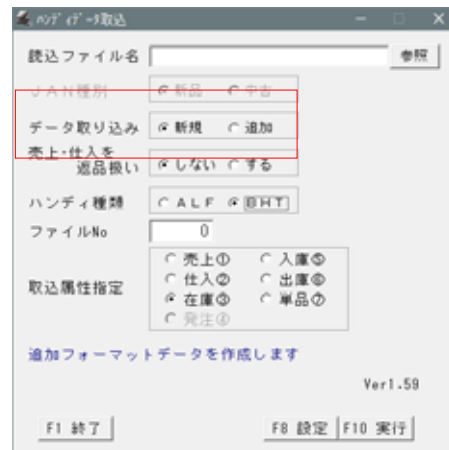
ハンディターミナルを複数台使用している場合や、一連の作業で読取りが複数回ある場合は、「ハンディデータ取込」を使用します。

ハンディメニューより「ハンディ用データ取込」を選択。



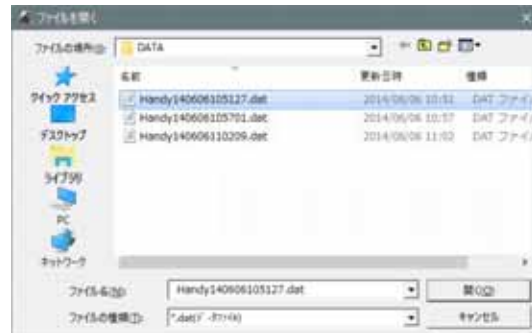
「ハンディ取込み」が開きますので、取り込むデータが、新規のデータなのか、一連のデータなのかを設定します。

新規の場合、「新規」一連の業務で、2回目や2台目のハンディの場合、「追加」にチェックをいれます。



右の画面が表示されます。「handy*****.dat」のファイル名から日付を判断して取込ファイルを選択してダブルクリックして下さい。

CASIO・DENSO以外の機種は「zaiko*****.dat」

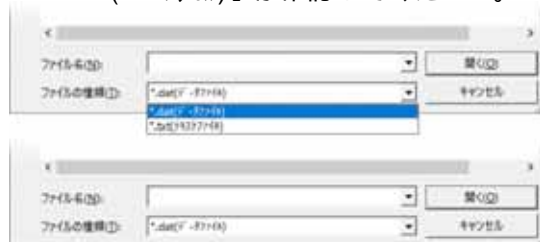


追加の場合のファイル選択

ファイル選択時の「更新日時」で、何時追加したファイルか判断できます。

名前	更新日時
D	2014/06/09 14:23
Handy140609141642.dat	2014/06/09 14:16
Handy140609142238.dat	2014/06/09 14:22
Handy140609144930.dat	2014/06/09 14:49
Handy140609155124.dat	2014/06/09 15:51
Handy140609155245.dat	2014/06/09 15:52

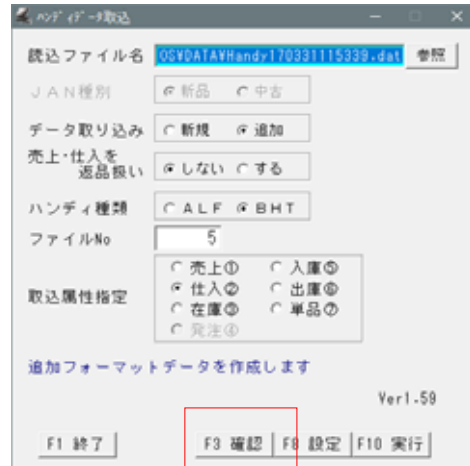
「ファイルの種類は」は「*.dat(datファイル)」が確認してください。



仕入・移動（ハンディデータ取込）複数台・複数回の場合-2

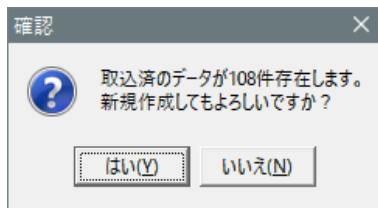
取り込んだデータにエラーがある場合は、「F3 確認」でエラー内容を確認できます。

「ハンディデータ取込」画面が表示されます。
「F3 実行」を押して下さい。



新規の場合

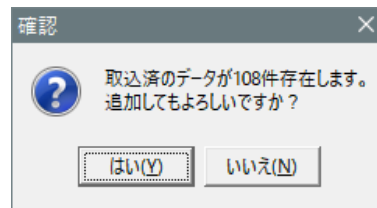
前回取込したデータが残っている場合は、「新規作成してよろしいですか?」と表示されますが、よろしければ、「はい」を押して下さい。取込み作業が開始されます。



注意）「新規作成」で実行すると、以前に取り込んだデータは削除されます！

追加の場合

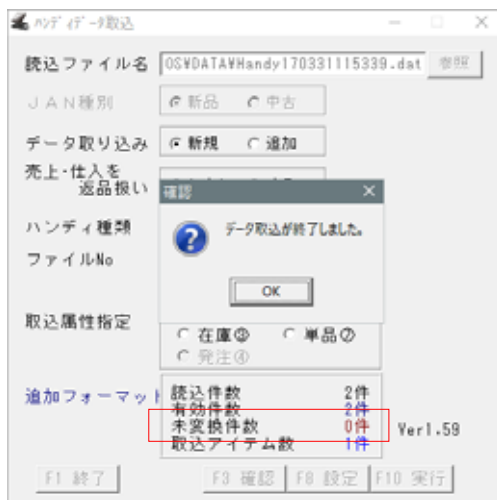
前回取り込んだ件数が表示されます。よろしければ、「はい」を押して下さい。取込み作業が開始されます。



取り込みが終了すると「データ取込が終了しました。」のメッセージが表示されるのでOKを押す。

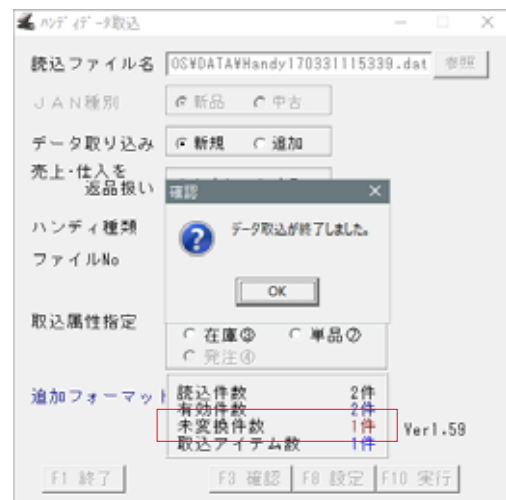
取込みエラーなし

「未変換件数」が0件です。



取込みエラー

「未変換件数」にエラー数が表示されます。エラーの原因は、次項を参照してください。



仕入・移動（ハンディデータ取込）複数台・複数回の場合-3

「ハンディデータ取込」画面が表示されます。
「F3 確認」を押して下さい。

Handyデータ取込

読込ファイル名: OSYDATA\Handy170331115339.dat 参照

JAN種別: 新品 中古

データ取り込み: 新規 追加

売上・仕入を返品扱い: しない する

ハンディ種類: ALF BHT

ファイルNo: 5

取込属性指定: 売上① 入庫②
 仕入③ 出庫④
 在庫⑤ 単品の⑥
 発注⑦

追加フォーマットデータを作成します

Ver1.59

F1 終了 | **F3 確認** | F8 設定 | F10 実行

「ハンディ取込ログ」が開きます。
表示された、未取込みデータは「処理結果」を参照して処理してください。

取込みエラーなし

「未更新件数」が0件です。

No.	区分	取込コード	数量	金額	処理結果
1	取壊	40400001000	5	4002仕入	正常取込
2	追加	40400001000	5	4002仕入	正常取込
計1件		更新2件	未更新0件		

F1 終了 | F4 31行 | *すべて表示 | エラーのみ表示 | F7 F4D | F9 印刷

取込みエラー

「未変換件数」にエラー数が表示されます。

No.	区分	取込コード	数量	金額	処理結果
1	取壊	40200001000	5	14281	正常取込
2	取壊	40200001000	5	29622	正常取込
3	取壊	40200002000	5	29622	正常取込
4	取壊	40200003000	5	29622	正常取込
5	追加	40300001000	5	14281	正常取込
6	取壊	40300002000	5	14281	正常取込
7	NO	02000000000	5	14281	商品マスタ未登録
計7件		更新6件	未更新1件		

F1 終了 | F4 31行 | *すべて表示 | エラーのみ表示 | F7 F4D | F9 印刷

例) 「商品マスタ未登録」と表示されているコードは、一覧のコードを参照しながらBCPOSの商品マスタに登録してください。

「F1 終了」を押して取り込み完了です。

Handyデータ取込

読込ファイル名: OSYDATA\Handy170331115339.dat 参照

JAN種別: 新品 中古

データ取り込み: 新規 追加

売上・仕入を返品扱い: しない する

ハンディ種類: ALF BHT

ファイルNo: 5

取込属性指定: 売上① 入庫②
 仕入③ 出庫④
 在庫⑤ 単品の⑥
 発注⑦

追加フォーマットデータを作成します

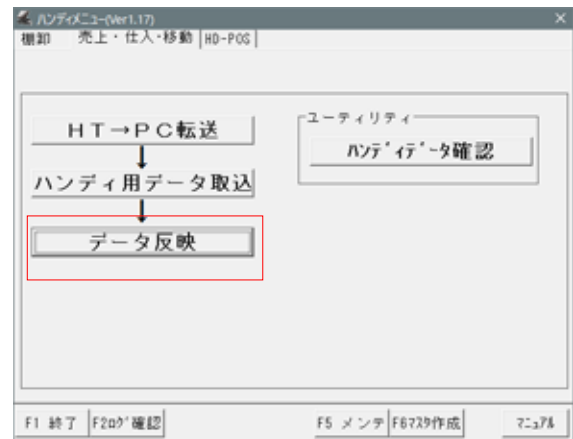
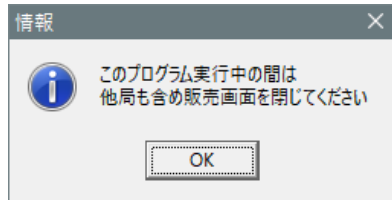
Ver1.59

F1 終了 | F3 確認 | F8 設定 | F10 実行

仕入・移動（データ反映）

BCPOSに取り込んだデータを反映させます。

ハンディメニューより「データ反映」を選択。
確認メッセージが表示されるのでレジ画面を閉じてからOKを押す。



ハンディ反映が開きますので、「ハンディデータ」にチェックして下さい。

「読みファイル」参照は、すでに前項で終わっていますので、操作しないでください。



次に、「その他」にチェックをいれて、「F10実行」を押して下さい。

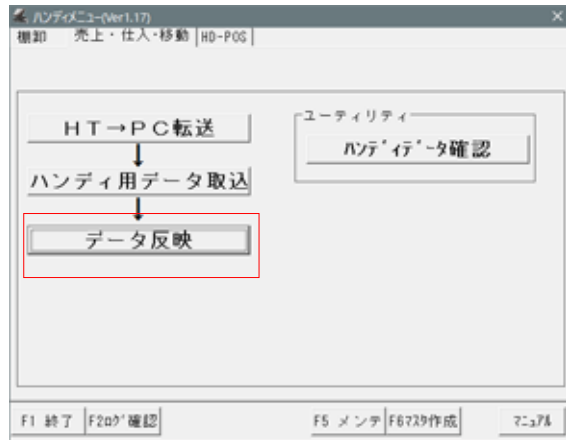
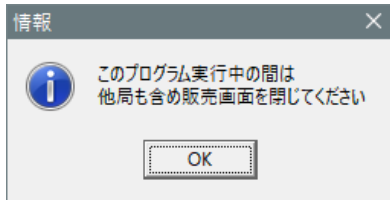
処理が反映されます。ジャーナル点検等で反映されているか確認して下さい。



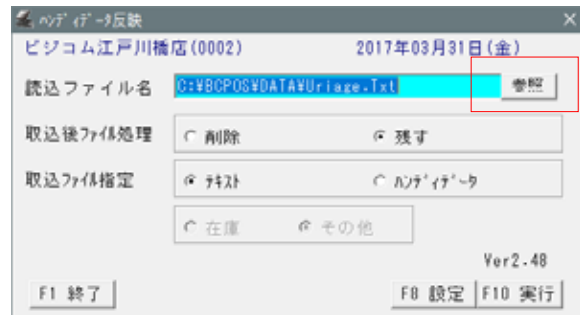
番外 - 仕入・移動 (テキストデータの取込)

Excel等で作成したデータ(棚卸・仕入・移動・・・等)をテキストファイル形式で取込みます。ファイルフォーマットについては、別途弊社にお問合せください。

ハンディメニューより「データ反映」を選択。
確認メッセージが表示されるのでレジ画面を閉じてからOKを押す。

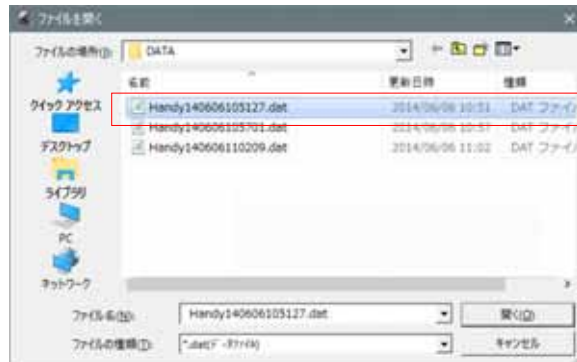
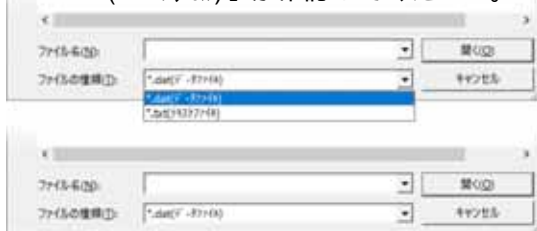


ハンディデータ反映が開きますので、「参照」をクリックして下さい。



「ファイルを開く」の画面が表示されます。ファイルの種類を「txtファイル」に変更して作成した「*****.dat」をダブルクリックします。

「ファイルの種類は」は「*.dat(datファイル)」か確認してください。



「F10実行」を押す。

処理が反映されます。ジャーナル点検等で反映されているか確認して下さい。



サポート

電話サポート無料

ビジコムでは平日の10時から18時まで電話などによるサポートを受け付けています。電話窓口によるサポートにおいては一切費用をいただいております。当社の営業時間であればいつでも電話などでサポートさせていただきます。

インストールや操作方法などに関するお問合せ、HD-POS使用上のトラブルなどを受け付けております。

株式会社ビジコム カスタマーセンター

TEL 0827-28-5130

営業時間 平日10:00～18:00
(土・日・祝および営業時間外のサポートはお受けできません)

E-Mail support@busicom.co.jp

HD-POSユーザーズガイド (BCPOS)
初版 2011年 11月 (ver1.0)
第5版 2015年 2月 (ver2.0)
第6版 2017年 4月 (ver3.0)

株式会社 ビジコム

WEB : <http://www.busicom.co.jp/>

Mail : info@busicom.co.jp